

14. 21-775



14.21

775



始



農業水利制度參考資料  
第四輯

農業水利慣行ニ關スル調査 第壹輯

農林省農務局



農業水利慣行ニ關スル調査 第壹輯

農林省農務局



1421-775

### 凡例

本書ニ輯ムル調査ハ農林技師鶴崎多一ヲシテ實地ニ付調査セシメタル所ニ係リ農業水利慣行ヲ知ルベキ資料トシテ印刷ニ附シタルモノナリ

昭和九年十月

農林省農務局



農林省農務局

農林省農務局



農業水利慣行ニ關スル調査 第一輯

目次

第一、用水權ニ關スル調査

- 一、新潟縣佐渡郡長江川筋用水權賣買ニ關スル調査……………一
- 二、宮崎縣西臼杵郡岩戸村水株權ニ關スル調査……………四一
- 三、京都府乙訓郡向日町上植野ニ於ケル農業水利慣行調査……………八一
- 四、岡山縣都窪郡八ヶ郷用水ノ農業水利慣行調査……………九七
- 五、長野縣上水内郡烏居川筋用水權ニ關スル調査……………一五三
- 六、青森縣津輕郡平川筋用水權ニ關スル調査……………一七九

第二、溜池用水權ニ關スル調査

- 一、廣島縣沼隈郡管野池用水權ニ關スル調査……………二〇一
- 二、秋田縣仙北郡西沼用水權ニ關スル調査……………二一九

第三 河川ニ於ケル分水慣行ニ關スル調査

- 一、白川分水ニ關スル調査……………二六三
- 二、矢作川分水ニ關スル調査……………三六九
- 三、矢部川分水ニ關スル調査……………四五一
- 四、小玉川分水ニ關スル調査……………四八五

第四、耕地整理組合ニ於ケル配水管理ニ關スル調査

- 一、長野縣上伊那郡西天龍耕地整理組合ニ於ケル配水管理ニ關スル調査……………四九七

第一、用水權ニ關スル調査

第三 河川ニ於ケル分水慣行ニ關スル調査

- 一、白川分水ニ關スル調査……………二六三
- 二、矢作川分水ニ關スル調査……………三六九
- 三、矢部川分水ニ關スル調査……………四五一
- 四、小玉川分水ニ關スル調査……………四八五

第四、耕地整理組合ニ於ケル配水管理ニ關スル調査

- 一、長野縣上伊那郡西天龍耕地整理組合ニ於ケル配水管理ニ關スル調査……………四九七

第一、用水權ニ關スル調査

一、新潟縣佐渡郡長江川筋用水權賣買ニ關スル調査





目次

第一章 長江川筋分水概説……………一

  第一節 長江川ノ概況……………一

  第二節 用水堰ノ概況……………二

  第三節 用水堰ノ沿革……………四

  第四節 分水慣行……………五

第二章 下横山ニ於ケル用水権ノ内容……………九

  第一節 用水権ノ性質……………九

  第二節 用水権ノ主體……………一三

  第三節 用水権ノ發生原因……………一四

  第四節 用水権ノ分布……………一七

第三章 用水権ノ賣買事情……………一八

  第一節 用水権賣買ノ原因……………一八

  第二節 用水権賣買ノ内容並效果……………二三

  第三節 用水権賣買ノ形式……………二五

  第四節 用水権ノ價格……………二九

  第五節 用水権賣買ニ於ケル制限事項……………二九

第四章 立野ニ於ケル用水権トノ比較……………三二

附 新保川筋農業水利慣行……………三五





# 第一章 長江川筋分水概説

## 第一節 長江川ノ概況

佐渡郡ハ廣袤東西凡ソ十三里南北凡ソ二十六里周圍五十餘里ヲ疆域トシテ凡ソ五十六方里ノ面積ヲ有シ、南北ニ條ノ山脈ニ挾マレテ島ノ中央部ニ所謂國中平野クニナカヲ擁シ、耕地面積ハ田一萬町歩、畑三千町歩ナリ。

長江川流域ハ、島ノ中央部ノ東北端加茂湖西岸一帯ノ地域ニシテ、其ノ源ヲ佐渡ヶ島隨一ノ高峰金北山ニ發シ東南ニ流下シテ延長三里加茂湖ニ注グ溪流ナリ。

金北山ハ海拔三千八百餘尺ノ高峰ナルモ冬期降雨多キヲ以テ全山樹木生茂シ、本流域モ亦針濶混生ノ森林密生シ大森林ヲ爲ス故ニ水源狀況良ク、上流部ニ於テ十五分ノ一乃至二十分ノ一ノ勾配ヲ爲シ流域狹少ナレ共——流域面積〇・二四四平方里——島地河川ノ缺點タル渴水期ニ於テ水量皆無トナル如キ事無ク、上流發電所ノ調査ニ依レバ渴水量二五個平水量四個ナリ。

發電所及取入口附近ニ於ケル最高最低水位ハ次ノ如シ。

發電所	最高水位	最低水位	平水位
發電所	五九一・五五 <sup>尺</sup>	五九〇・〇〇 <sup>尺</sup>	五九〇・五〇 <sup>尺</sup>

同取入口

七五〇・八一

七四七・九一

七四八・二一

二

(吉井村々營水力發電所調)

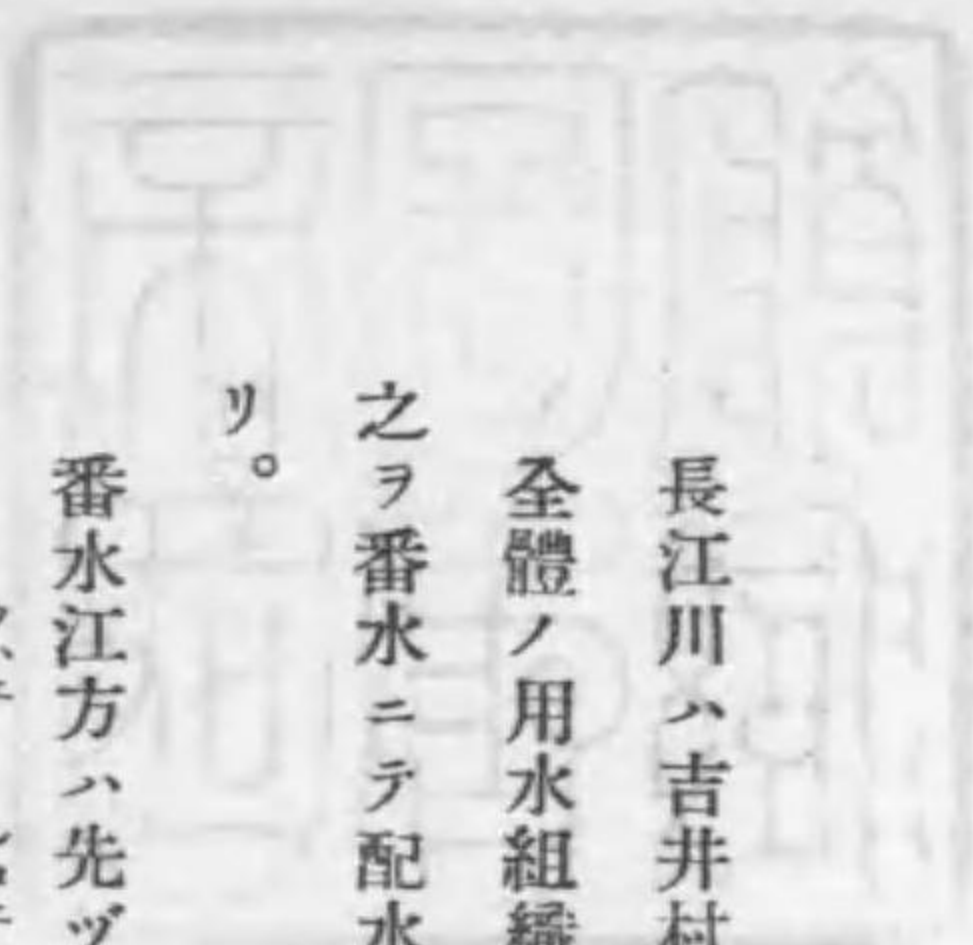
尙河床ハ土砂礫僅少ニシテ、岩盤露出シ河幅ハ狹ク下流部ニテ約二間、分支流ハ上江用水路ノ他無シ。

### 第二節 用水堰ノ概況

長江川ハ吉井村十三ヶ字ノ中八部落約三百町歩ノ水田ヲ灌溉ス。

全體ノ用水組織ヲ番水江方ト落水方トニ分ツコトヲ得。番水江方トハ長江川ノ流水ヲ直接引用シ、之ヲ番水ニテ配水スル地域ニシテ、落水方トハ其ノ名ノ示ス如ク、番水江方ノ落水ヲ利用スルモノナリ。

番水江方ハ先ヅ吉井村大字長江字稗田地點(註)ニ於テ、一度本流ヲ堰止メコンクリート分水口ニ上ゲテ、上江、下江ニ二分水シ、下江ハ直チニ本流ニ戻リテ本流ガ其儘下江用水路トナリ、上江ハ用水路ニテ地區迄至リ更ニ五ヶ村分水(今日ハ五大字分水ナルモ當時大字ハ村ナリシヲ以テ斯ク云フ)ヲ爲シ、大江、中江、立野ノ三ツ江トナリ、大江、中江ハ上横山、下横山ヲ灌溉シ、立野江口ハ更ニ三ヶ村江口ニ於テ分水シ、三瀬川、立野、本郷ヲ灌溉ス。



(註) 本地點直上ニ吉井村々營水力發電所アリ。

上江灌溉區域 上横山、下横山、立野、三瀬川、本郷ノ五字、約百町歩

下江灌溉區域 長江、秋津(舊釜屋、籠米)ノ二字、約百町歩

落水方ハ主トシテ上江ノ側ニアリ、落水十關ト稱スルモノハ次ノ如シ。

落水十關 帆桂水、洞丸川、觀音水、水渡川、吉井裏川、戸ノ下水、上江、中江、諏訪水、萩沖、約百町歩

尙明治十一年八月三ツ江間斷伏替ノ時ノ調ニ依リ上江ノ灌溉面積ヲ各大字別ニ示セバ

上	横山	四六町六反
下	横山	二一町七反
立	野	一九町六反
本	郷	二町四反
三	瀬川	九町五反
計		九九町八反

ナリ。



### 第二節 上江用水堰ノ沿革

長江川上江開鑿竣工ノ年代ハ詳ナラザレドモ、吉井村史ノ記ス處ニ依レバ、其ノ起原ハ今ヲ去ル四、五百年前足利氏治政ノ下ニ守護地頭職ガ佐渡ヲ治メシ頃ナリキ。文明ノ頃吉井地頭藍原太和守ナルモノ長江地頭名古屋氏ト婚整フヤ、藍原領下ノ横山、三瀬川、水渡田、細屋等ノ里民ハ長江山ノ山子トナリ自由ニ薪炭ヲ求メ得ルト共ニ此處ニ長江川一ノ關ニ於テ川水ヲ分ケテ吉井本郷、立野野山、三瀬川、水渡田、細屋、湯端ニ至ル三百餘町歩ニ灌漑ノ基ヲ發セリ。其ノ後約百年ヲ距テテ、慶長年間其

ノ水路ヲ更ニ大成シ、横山以西及南部ヘノ幹線トシ、耕地開墾ニツレ新用水路ヲ漸次分岐シ、現在ニ至ルナリ。

コノ用水堰ノ沿革ハ今日長江川筋ノ水利協議ニ於テ長江部落カ總元締トナリ、各堰ノ元締モ皆最初ニ開ケシ耕地ノ部落ガ元締シ、上江ハ上横山、下江ハ長江、落水十關ハ立野ガ代々元締トナレル事情ニ徴スルモ明カナリ。

### 第四節 分水慣行

長江川ノ第一ノ分水江口ニ關シテハ慶長ノ頃上江六分下江四分ノ分水協約(參照一)アリタルモ嘉永ノ頃五分五分ノ分水トナリ、爾來コノ分水ヲ定規トシ(參照二)現在モコンクリート分水口ニ依リ二分水ヲ爲シ定流トセリ。

(參照一)

#### 證文

以前上江ノ儀ハ四寸ノ竹ノ管ニテ水引下シ候處此ノ度長江玄重ト立野村太郎右衛門殿兩人ノ工夫ニ依リテ上江開ボツイタシ長江川水一ノ關ニテ澤分ノ儀上江六分下江四分通り引來ル事ト相定メ候江道開ボツノ儀ニハ長江村二筋ノ江又ハ太郎右衛門筋ノ儀永年定水ニ引江成サレ候後日ノ爲一札相渡

申候所依而如件

慶長十一年五月

上横山 長右衛門、清右衛門、忠兵衛、庄兵衛

同 名主 次郎 左衛門

下横山組頭 利右衛門

名主 權之丞

立野組頭 助右衛門

名主 太郎右衛門

立野村

太郎右衛門殿

(參照二)

取爲替申間斷(註)出來形證文之事

長江川字一ノ堰用水 二ツ分チ間斷出來形

一、一番水ナラシ 二番迄五尺

一、二番水ナラシ 間斷迄三尺

一、三番ハ間斷 四番迄七尺五寸

一、四番 川床 五番迄一丈

一、五番 川床

嘉永七年

各村名主連名

(註) 間斷トハ見斷或ハ檢段トモ書キ分水堰ノコトヲ稱ス

上江ノ三之江口五ヶ村分水モ定流シニシテ、間斷ノ分水割合ヲ規定セリ。左ノ如シ。

取爲替申間斷出來形證文之事

一、大江 二六町餘 此水口 二尺六寸

一、中江 一三町餘 此水口 一尺三寸外ニ一寸七分

計一尺四寸七分

一、立野口 二九町餘 此水口 二尺九寸

一、水 浚 二ツ 九寸八分宛

一丈一尺九寸

文化二巳年八月

各村名主連名

三ヶ村江口ノ分水ハ番水ニ依リ日之出、日之入ノ晝夜切トシ江尻——川下——ヨリ番水ヲ請求スル

コトニ依リ、番水ヲ開始シ、其ノ引水歩合ヲ

三瀬川 二番 江口筋 反歩 四町

立野 四番 江口筋 反歩 十四町

本郷 一番 此江反歩 二町二反

トシ(參照三)三瀬川一番↓立野二番↓本郷一番↓三瀬川一番↓立野二番ノ順ニシ一番トハ晝夜何レカ一回ノ番水ヲ云フ。江口ハ立野ガ元締ス。

(參照三)

寶永二年酉六月三日地方御會衆對處仕先規之通番水ニ及六町ニ一町宛ニ御許相成候處書留申候

公事御聞成候御役人名

御本人役 本間某 地方御代官四組御立會成候

下ツテ、大江ノ分水ハ番水ニシテ上横山一日一夜下横山一日ノ割ナリ。

江筋番水江方ノ分水慣行ハ上述ノ如クニシテ、此等ノ慣行ハ總テ古田コヂン(慶長年間ノ長江川分水ノ時ニ分前ニ與リシ時ノ田ヲ云フ)ヲ中心トセルモノナルモ、今日尙此割合ノ儘ニテ確守セラレ居ルナリ。

此外ニ落水方ヘノ分水アリ。之ハ五日ニ一日上江、下江共引水ヲ堰止メテ落水方ニ分水スルモノナ

リ。尙「五ヶ村檢分」「八ヶ村檢分」「破リ水」等ノ慣行アリ。「五ヶ村檢分」トハ早魃甚シキ土地ノ者ガ水惣代ニ分水ヲ申出タル時、之ニ對シ上江筋ノ引水ヲ止メテ一日分水スルヲ云ヒ、「八ヶ村檢分」トハ上江、下江ヲ停止シ申出ノ土地ニ一日分水スルヲ云ヒ、「破リ水」トハ分水時間ノ最後ノ瞬間前ニ引水スルヲ云フモノニシテ何レモ例外的慣行ナリ。

## 第二章 下横山ニ於ケル用水權(註)ノ内容

長江川筋ノ用水堰ハ上述ノ如クナルモ、用水權ノ内容ヲ爲ス各堰ノ配水慣行ハ更ニ種々ナル慣習アリ。先ヅ用水權ノ賣買ノ事實在ル下横山——上横山モホボ下横山ト同一ノ事情ノ下ニアリ——ニ就テ見

(註) 長江川ノ流水ハ専ラ流域ノ灌溉用水ニ用ヒラル、ヲ以テ用水權トハ農地ノ用水ノ爲一定ノ施設設備ニ依リ一定量ノ水ヲ引用スル權利ト見ルベシ。

## 第一節 用水權ノ性質

三ツ江ヨリ分水セラレタル用水ハ上横山、下横山ノ二字ニ灌溉セラレ、下横山一日上横山一日一夜

ノ割ノ番水ヲ受クルコトハ前記ノ如シ。一度下横山ニ分水セラレタル水ハ番水ニ至ラザル間ハ常時各土地所有者ハ其ノ所有權ニ基キテ所要水量ヲ引水スルコトヲ得ルモノニシテ斯ル引水ニ對シテハ各土地所有者ハ同一ノ引水權ヲ有スト見ルヲ得ベシ。

サリ乍ラ、本長江川流域ハ例年用水ニ不足ヲ生ジ、所謂番水ヲ爲スモノニシテ而モコノ番水ヲ爲サザル年ハ皆無ノ事情ニアリ。故ニ番水ニ爲リタル場合如何ニ分水セラレ又各土地所有者ノ用水ニ對スル處理如何ハ用水權ノ内容ヲ決定スル條件ニシテ、番水制度無キ場合ノ一般ノ用水權ノ内容ヲ定ムル場合ト異ル所多シトス。

番水ノ内容ヲ見ルニ、先ヅ流末ノ用水使用者ヨリ番水ノ請求アラバ長江川ハ番水トナルモノニシテ、下横山ニ來ル番水ハ更ニ「二十五」ニ分ケラレ、古田所有者ガ各自コノ番——一番ハ二十五分ノ一ノ權限——ヲ有シ、之ニ相應セルダケノ割合ノ水ヲ請求スルナリ。此番ハ東西ニ分ケラレ、東十三番、西十二番トシ、午前午後ノ交代ニ番水ス。配水ニ於テ自己ノ支配スル水ヲ自己ノ水田ニ配水スル場合上ヨリ下ニ水ヲ配水スルヲ下水ト稱シ、下ヨリ上ニ持チ行クヲ上水ト稱ス。尙此番水ノ持分ヲ「水歩<sup>ミツ</sup>」ト稱ス。

扱テ斯ル番水ノ内容ヲ有スル用水權ノ性質ヲ検討セン。

本事例ノ用水權ニ付テ番水ノ制限ヲ受クルコトナク關係土地所有者ガ常時引用スルモノトセバ、長

江川ナル溪流ニ於テ、上江下江用水關係者ガ同流水ヲ永年使用シ來リ、上流ノ他ニ於テ此ノ流水ヲ使用スル時ハ其ノ害忽チ右關係者ニ及ビ往古ヨリノ田地經營ヲ侵害スルコトニナルナリ。(參照)

(參照)明治二九、一〇、七、大審院民二部判決

「上流沿岸ノ所有者ニ於テ擅ニ其ノ流水ヲ使用シ以テ養水使用者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ズ」

乍併、問題ハ長江川ニ於テ斯ル流水引用ノ權利ガ番水ニ制限セラレ、其ノ番水ノ支配ニ付キ特例アル場合ノ用水權ノ性質ニ關スルモノナリ。即チ、斯ル慣行ヲ有セル用水權ニ付キテハ番水ノ支配權ヲ有スル古田ノ所有者ノミ用水權ヲ有スルト見ル可キカ或ハ常時ノ水掛リ水田所有者ヲ用水權者トシ、其ノ番水關係ヲ持分關係ト見ル可キカノ問題存ス。而ルニ、通常時一定ノ用水源ヨリ用水ヲ給セラレ、之ヲ以テ該水田ヲ灌溉セル場合ハ其ノ水田所有者ハ等シク水源ニ對シ水利權ヲ有シ共有關係ニアリ、番水ノ權利關係ハ内部ノ甲、乙兩者ノ契約關係即チ債權的關係ナリトモ見ララルナリ。即チ番水ノ制限ハ共同水利權ノ内部關係ニ於ケル持分ニシテ、共同水利權其レ自體ハ專用權タル性質ヲ失ハズ、之ニ對シ各自獨立シテ自己ノ持分ニ基キ其ノ專用權ニ依ル引水ヲ行使シ得ベキモノナリ。(參照)

(參照) 大正十二、四、五、東京控訴院判決

「共同水利權其レ自體ノ確認ヲ求ムルニ非ズシテ共同水利權者ノ内部關係ニ於テ各自所有ノ水田反別ノ割合ニ應ジ引水スベキ共同水利權ノ範圍即チ該權利ノ持分ノ確認ヲ求ムル訴ハ必要的共同訴訟



ニ非ズ。從ツテ持分權利者ハ各自獨立シテ自己ノ持分ニ基キ單獨ニテ訴訟ヲ爲スコトヲ得」  
 乍併、用水權ハ農業ノ目的ノ爲メニ完全ナル水ノ使用ヲ請求シ得ルモノニシテ又之ニ對スル義務ヲ擔フコトヲ其ノ内容トス。故ニ農業ノ目的遂行ニ缺クル水利使用ヲ内容トスルモノハ權利トシテ充分ナラザルナリ。本長江川筋ノ用水權モ亦通常時直接水ヲ使用スルハ勿論灌漑期ニ於テ用水不足セ  
 ル場合ニ權利ノ内容トシテ常ニ一定割ノ水ヲ請求シ得ルモノナラザル可カラズ。

斯クセバ、番水慣行ノ如何ニ依リテ問題ノ解釋ヲ異ニス。即チ、番水慣行ガ單ニ配水ノ順位ヲ定メ所定ノ期間ヲ巡リテ各自配水ヲ得ル場合ト本事例ニ於ケル如ク番水慣行ガ單ニ配水順位ヲ決定スルノミナラズ、番水ノ自由支配ヲ認メ此支配ノ如何ニ依リ番水ニ與リ得ザルモノヲ生ズル場合トニ於テ其ノ解釋ヲ異ニセザルヲ得ズ。關係者各自配水ヲ受クル前者ノ場合ニ於テハ番水ノ制限ヲ用水權ノ内部關係ト見ルヲ得ベキモ、必竟番水時期ニ配水ニ與リ得ザル關係者ノアル後者ノ場合ニ於テハ斯ル番水ノ制限ヲ一般用水權ノ内部關係ト解スルコトハ不適當ナリ。

判例モ田地ニ灌漑スル爲メノ用水權ハ用水不足ノ際殊ニ必要ヲ來スモノナレバ用水不足ノ際水利ノ便益ヲ享クル程度ガ用水權ノ内容ヲ爲スモノトセリ。(參照)

(參照) 大正三、五、九、東京控訴院判決

「田地ニ灌漑スル爲メノ用水權ハ旱魃ノ際殊ニ必要ヲ來スモノナレバ假令平水ノ時ニ於テ堰ノ爲ニ

用水ヲ杜絶セララルコトナシトスルモ旱魃ノ際用水權カ水利ノ便益ヲ享クル事ヲ妨ケラルレバ之レ即チ用水權ヲ侵害セラレタルモノト謂ハザルベカラズ」

依是觀之、番水ニ關シ優劣ノミトセンカ劣位ナリトスルモノハ權利ノ内容タリ得ルモノニシテ其ノ優劣ガ持分トナルモノナルモ、通常時水ヲ使用シ得ルモ一定ノ用水不足時ニ水ヲ使用シ得ザル事實アリトセンカ、ソハ權利ト稱シ得ザルナリ。故ニ、長江川筋上、下横山ニ於テ其ノ番水慣行ガ單ニ配水ノ順位ヲ規律セルノミナラズ番水ノ支配權ヲ認メ、斯ル支配權ヲ有スルモノガ自己所有田ヲ中心ニ自由ナル配水ヲ爲シ、有セザルモノハ有スルモノノ認許或ハ默許ニ依リテ灌水スル場合ハ、長江川筋ノ專用權ハ水掛水田所有者全體ノ共有關係ニアルモノト見ルヨリハ番水ヲ支配シ得ル權限ヲ有スル古田所有者及ビ彼等ノ有スル權限ヲ承繼セル者ノ手ニミ共有セラレ居ル權利ト見ルヲ適當トセン。斯クセバ本文ニ於テ用水權トハ「番水ヲ請求シ得ル内容ヲ有スル權利」トナルナリ。

## 第二節 用水權ノ主體

長江川筋各用水堰ノ用水路敷ハ公有——村有——ナルモ、用水路ノ維持管理ノ主體ヲ村ト見ルベキ根據無ク、費用負擔關係ニ於テ之ヲ村ニ於テ負擔スルコト無クシテ關係水田所有者ガ江番米ト稱スル水利費ヲ直接負擔シ、番水ノ費用、當時ノ修理等ノ費用モ亦總テ各所有者ノ直接負擔スル所ナリ。(註)

(註) 費用ノ負擔ニ付テ見ルニ各利用者ハ古田面積割ニ之ヲ負擔シ、上江ノ費用ハ上横山四十五町、下横山十九町ノ割ニシテ、上横山ニ於テハ之ヲ反別割二分、地價割八分トシ下横山ハ全部反別割トス。堰番費トシテ上横山ニ於テハ一番ノ水ニ對シ米一合八勺トシ、下横山ニ於テハ一番ノ水ニ對シ米一升八合トセリ。

管理ニ於テモ、水利惣代——多クハ區長之ヲ兼ヌ——ヲ設ケ通常時ノ水利事務ヲ司ラシムルモ、單ニ代理スルニ止リ、何等利用者タル土地所有者ヲ拘束スベキ規約ヲ有セズシテ、水利ニ關スル重要問題ノ採否ニ付テハ各利用者ノ同意ヲ必要トシ、連名ヲ以テ處理セリ。

加フルニ、番水ノ際ハ長江川ノ流水ノ引用ニ付テ各利用者ガ自ラ江口ニ至リ自己ノ責任ニ於テ引水シ來ルヲ慣行トセリ。

用水權ノ主體ヲ認識スベキ標準ヲ何ニ置クベキカハ論議アル所ナルモ、要ハ水流ノ利用ニ付自己ノ責任ニ於テ處理スル點ニアリトス。

サスレバ長江川筋ノ用水堰ニ於テハ上記ノ三點ヨリ、用水權ノ主體ハ用水路敷ノ所有者タル村ナリト見ルヨリハ、寧ロ利用主體タル水田所有者ニシテ、而モ番水ヲ支配シ得ル者ナリト見ルヲ適當トセシ。

### 第二節 用水權ノ發生原因

水利ニ關スル慣行ハ短日月ノ間ニ成立シタルモノニ非ズシテ長年月ノ水利問題ノ重積スルニ從ヒ、關係者ノ勢力、面積、引水ノ難易等ノ事由ヲ中心ニ自然地理的或ハ社會的當該地方ノ諸事情ニ則シテ打立テラレタルモノニシテ今日之ヲ簡單ニ取扱ヒテ其ノ成立ノ根據ヲ論斷スルヲ得ズ。然レ共一度兩者間ニ協約或ハ裁判等ニ依リ一定ノ分水規準成立セバソレガ中心トナリ、社會事情、地理的事情ノ著シク變化セル今日ニ至リテモ尙水利ノ規準トシテ嚴ニ兩當事者ヲ制約ス。

今日、水利慣行トシテ其ノ分水率ガ數百年前ノ水田反別ヲ基礎トセルニ係ラズ現在ノ灌溉反別ノ分水率トシテ確守セラレ居ルモノ多シ。

長江川ノ分水慣行モ其ノ成立ニ至ル迄、地頭ノ勢力關係、古田ノ灌溉面積等ヲ繞リテ種々ノ水利紛爭ノ結果慶長年間ニ上述ノ分水慣行ノ協約ヲ見タルモノニシテ、今日其ノ支配水田面積ニ相當ノ變動アリシモ尙古田ヲ中心ノ分水率ヲ見シ事情ニアリ。コレ特殊ノ用水權ヲ發生セシメシ遠因ノ一ナリ。扱テ、上江下江ノ分水率ノ協定成リ、各支線水路ニ流レ來ル水量ノ決定ヲ見テ、各支線水路ニ於テ此等ノ用水ヲ配水スルニ付各自地區ニ適當セル分水規定ヲ定ムルニ至レリ。

下横山ニ於テハ當時各農家ノ財産狀態等シク經營面積モ亦稍同様ナル事情ニアリタルヲ以テ、各水田別ニ番水ノ順位ヲ附スルヨリモ、各農家ニ番水ノ順位ヲ與フルコトヲ便宜トセシナラン。即チ圃地ニ水ヲ與ヘタルモノニ非ズシテ、散在田地ノ全體ニ付番水ノ順位ヲ附シタル實狀ニ付テ察スルモ各農

家ニ番水順位ヲ與ヘシモノト見ルヲ得ベシ——番水順位ヲ二十五ニ分チタルハ當時ノ農家戸數ニ割當タルモノナラン。

其ノ後各農家ノ所有面積ニ變動ヲ生ジ、開墾等ニ依リテモ灌溉面積ノ變化ヲ來シ、而モ漸次用水ニ不足ヲ見ルニ至リタルヲ以テ、此處ニ自己ノ支配シ得ル番水ノ效果ニ差ヲ生ジタリ。「水ヲシテ其ノ最大ノ收益ヲ持來ラス土地ニ向ハシムル」水利經濟ノ原則ハ今日ノ番水ニ對スル支配ヲ生ゼシモノナリ。

番水ハ各用水路ニ入り來レル用水ニ付定マリ、例ヘバ仁左右衛門水、圓壽島水、地下水等ニ於テハ各仁左右衛門水一番、二番等或ハ圓壽島水一番、二番等ノ番水アルモノニシテ、此番水ハ一番ヲ以テ數反ヲ養フモノアリ。一町ヲ養フモノアリ。漸次掛リ水田ノ増加ニ依リ自己ノ有スル番水ヲ以テ全掛リ水田否自己所有田スラ養フコト能ハザルニ至ラバ或ハ更ニ一層用水ノ不足ヲ感ゼバ、自己所有田全體ニ水ヲ掛ケ而モ其ノ效果薄キヨリハ寧ロ一定水田ニ其ノ全水量ヲ向ケテ其ノ特定水田ノ收益ヲ舉ゲントスル努力ヲ生ミ、其ノ結果ハ必然的ニ一番ノ水ガ掛リ水田ノ地役的性質ヲ離レテ上記用水路ノ範圍内ニ於テ其ノ水ヲ隨意ニ支配シ特定水田ニ向クルコトヲ得ル慣行ヲ生ズルニ至ル。

即チ、「仁左衛門水一番」ヲ有スルモノハ仁左衛門用水路ニ流レ來ル水ニ付一番ノ水ヲ支配シ得ルモノニシテ、其ノ番ニ當ル用水ヲ自己ノ所有田ノ何レニモ隨意ニ引水シ得ルモノニシテ、上水、下水ヲ行

ヒテ、其ノ用水ヲ希望ノ水田ニ配水シ得ルナリ。

此處ニ用水權ヲ生ジ、此權利ヲ有スルモノハ其ノ支配セル番水ヲ自己所有田ニ配水シ得ル權限ヲ有スルモノニシテ又之ニ對スル義務、負擔一切ヲ支拂フモノナリ。該番水ノ掛リ水田ニシテ番水ノ支配權ヲ有セザルモノハ權利者ニ依頼シテ配水ヲ受クルモノニシテ配水請求ノ權限ナク之ニ對スル義務モ無シ。

蓋シ、番水ヲ有スル事ハ旱魃時ノ危險ヲ特定水田ニ付除外スル事ヲ得更ニ餘裕ヲ存シテ水田經營ヲ爲シ得ルニアリ。

#### 第四節 用水權ノ分布

現在下横山ノ農家戸數ハ二十六戸ニシテ、總テ自作兼小作ナリ。其ノ一農家當平均水田所有反別ハ一町一反、平均耕作反別ハ一町五反ナリ。

斯ル農村事情ニアリテ二十五番ニ分タル番水ノ權利者即チ用水權者ハ如何ニ分布セラレ居ルカヲ見ルニ、權利者ハ二十一人、此ノ權利ノ下ニアル水利使用者ハ二十八人ナリ。

今番水ノ權利ノ大小別所有ヲ見レバ次ノ如シ。

二 番 半 一 人

二番	四人
一番半	三人
一番	七人
片番	四人
七分五番	一人
二分五番	一人

(備考) 七分五番ハ一町歩ニ對スルモノ、二分五番ハ四反歩ニ對スルモノナリ

### 第二章 用水權ノ賣買事情

#### 第一節 用水權賣買ノ原因

用水權ノ移轉讓渡ニ關スル問題ニ付テ次ノ二主義アリ。

一ハ用水權ハ定メラレタル一團ノ土地ニ及ブモノ即チ一定ノ土地ニ附隨セルコトヲ原則トシテ、他ノ土地ヘノ移轉ヲ許サザルモノ、二ハ用水權者ハ一定ノ水路ニヨリ導水セル一定量ノ水ニ對シテハ如何ナル土地ニモ使用シ得ル權利ヲ有スルモノナリトシテ土地ヨリ離レテ移轉スルコトヲ得トナスモノナリ。

前者ノ農業水利制度ハ必ず特定ノ土地ニ對スル農業水利權ノ從屬ガ土地ニ充分ナル灌溉水ヲ得ル權利ヲ認ムルコトノ論理的歸結ニシテ、一度用水ニ不足ヲ生ジ全體ノ土地ヲ潤スコトヲ得サル場合ハ水ノ經濟的利用ニ基ク用水權ノ行使ニ制限ヲ加フルコトヲ必要トスルニ至ルナリ。多クノ地方ニ於テハ斯ル制限ヲ「檢分ニ依ル分水制度」「番水制度」「腕力ニ依ル解決方法」等ノ實際方法ニ依リ兎モ角モ水ノ最大ノ收益ヲ持來ラス土地ニ水ヲ向ハシメ居ル狀況ナリ。

用水權ノ賣買ノ原因トシテ用水不足ヲ第一ノ原因トシテ舉ゲザルヲ得ザルハ勿論ナルモ、ソハ長江川筋全體ノ等シク蒙ルコトニシテ下横山ニ於テ特ニ賣買ヲ生ゼシ直接ノ原因ト目スルヲ得ザルナリ。下横山ノ用水權ノ賣買ハ實ニ上記ノ腕力ニ依ル水利經濟上ノ用水權ノ制限ヲ金力ニ替ヘタルモノニ過ギザルモノト見ル可ク、斯ル支配權ノ移轉ハ特別ノ社會的原因ニ基クモノナリ。

扱テ、下横山ニ於テ番水ノ支配ヲ二十五番ニ分チ、之ヲ古田ヲ中心トシテ各農家ニ與ヘタルコトハ前述ノ如シ。其ノ後各農家ノ所有水田面積ニ異動ヲ生ゼシコトハ當然ニシテ、從ヒテ番水ノ支配ニ掛リ田ノ多少ヲ來シ、掛リ田ノ多キモノハ尙多クノ配水ヲ望ミ、掛リ田尠キモノハ之ヲ分ツモ其ノ經營ニ支障ナキ事情ニ至ル。更ニ、掛リ田多ク用水不足ニ困却セルモノハ自己ノ水田ヲ賣却スルニ當リ用水權ヲ其ノ水田ニ附ケズ分離シテ殘スコトニナリ、或ハ掛リ田尠キモノハ用水不足セルモノニ用水權ノミヲ讓ルコトニナリ、斯ル事情ガ重ナリ、慣習トナルニ及ビテ多少トモ土地ヲ離レタル水ヲ生ジ、



一、上田二反九畝十步 新御水帳面之通り

此境東ハ川切西南ハ理兵衛清水、武兵衛田切り、北ハ伊兵衛畔切り

一、番水片番

此讓代錢三百五拾貫文

右之地面賣渡方江八ヶ年以前文化十七年字畔下上田二反九畝十歩ノ場所ニ水片番相添十ヶ年季質地差遣シシ所私儀茂段々身上不所賣イタシ大償相成候處親類五人組村役人相寄相談一決之上右地面水片番トモ讓渡代錢三百五拾貫文體ニ受取所紛無御座候若此未從御公儀様ト同一詮儀被下如何様ト御掟ニ相成候共右田地ニ於テ構無之候尙亦用水片番ノ儀水下江番水相懸ケ御配リ末ノ子孫ニ至ル迄其方ニテ御公約等御務メ御指配被下可候爲後日流地讓證文依而如件

文政七申年十二月

加茂村下横山

讓主	何	某
親類	何	某
五人組	何	某
百姓代	何	某

組頭	何	某
名主	何	某

何 某殿

### 第二節 用水權賣買ノ内容並效果

元來、長江川ニ於テハ灌溉期ノ平常時ニ於テ各用水路ノ掛リ水田タル以上ハ、用水權ヲ有セザルモノト雖モ、何等引水ニ制限ヲ附セラルルコト無ク、灌溉用水ニ用ヒルニ於テ支障ナキモノニシテ其處ニ權利ノ有無ヲ云々スルヲ要セザルハ明カナリ。

サリ乍ラ、一度番水ガ行ハルルニ及ビ長江川ノ用水權ハ古田相當反別ニ付長江川本流ヨリ引水シ得ルモノナルヲ以テ、各地區ノ流水支配ニ差違ヲ生ジ、而モ下横山ニ於テハ更ニ其ノ社會的諸事情ガ用水權ノ移轉ヲ人的關係ニ於テ認メタルヲ以テ、番水ノ持分ヲ有スルモノハソレニ相當スル「番」ノ水ヲ支配シ、其ノ水ヲ自己ノ欲スル水田ニ引水スルコトヲ得ルモノトナリシコトハ前述ノ如シ。

故ニ、用水權ト云フモ、其ノ效果ハ自己ノ有スル全水田ニ對シテ用水ヲ供給スルコトヲ確保スルモノニ非ズシテ、用水不足ノ際ニ尙自己所有水田ノ幾部分ニ付旱害ヲ除去シ得ル保證ヲ確保スルニ過ギザルベシ。

云フ迄モ無ク、用水權ノ内容ハ自己所有田ノ多少ニ係ラズ自己ノ有スル番ノ割合ニ應ズル水ヲ自己ノ任意ニ處置シ得ル法律的内容ヲ有シ、斯ル内容ヲ請求シ或ハ之ヲ犯ス場合直チニ除去ヲ請求シ得ルモノナリ。

更ニ、掛リ水田トノ關係ヲ見ルニ、振水——振水トハ水下ト稱スル該番水ニ依リ從來養ハレ来リタル地籍ノ土地ヲ第三者ニ讓渡スル際此ノ田相當反歩ノ水ヲ今後分ツコトヲ契約シ、用水權者ガ幾分ノ水ヲソレニ振り向クルコトヲ云フ——ヲナス契約上ノ責任アル外ハ、唯水下ノ依頼ニ應ジテ任意ニ掛リ水田ニ水ヲ分ツノミニシテ、其ノ他掛リ水田ニ對シ分水ノ義務ヲ負擔セズ。

通常土地ヲ賣買スル場合ハ其ノ證文ニ振水ヲ約スルヲ例トスルモ、コノ振水無キ場合ハ其ノ土地ヲ有スルモノハ用水不足時ニ於テハ掛込ト稱シテ銳意漏水等ヲ集水シ来リテ自然灌溉ヲスル外無ク、用水權ヲ有スルモノニ於テ其ノ水田ニ困難ヲ生ゼザル程度ニ於テ幾分ノ水ヲ依頼シ得ルニ過ギズ。

尙一言スベキハ用水權ノ内容ハ上述ノ如ク平常時引水スル場合ニハ何等權利ナキモノト其ノ效果相等シク、而モ振水ニ依リ用水權ヲ有セザルモ相當ノ水ヲ分與セラルルヲ得ナバ強ヒテ用水權ノ獲得ヲ必要トセザル觀アルモ用水權ヲ有スルハ水田所有者ノ地位ヲ保ツベク、或ハ堂々番水ヲ享クル資格ヲ整フル農村事情ノ存スルコトナリ。

### 第三節 用水權賣買ノ形式

土地ノ賣買ニ於テ、單ニ土地ノミノ賣買ヲ契約セシ場合ハ番水ヲ分クルコト無ク、特ニ自己所有ノ番水ヲ相當田ニ附スル場合即チ前述ノ振水ヲナス場合ハ「田地用水ノ證」ヲ取交シ、其ノ振り充ツル番水ノ名ヲ示ス。「田地用水ノ證」ノ取交書ハ次ノ例ノ如シ。

田地用水ノ證

佐渡郡吉井村大字上横山何百何拾番

一、田地何反歩

右田地用水トシテ拙者所有ノ二番衆水一番ヲ御引取相成度若シ他ヨリ故障等申者有之候時ハ拙者引受ケ解決致シ少モ貴殿へ御迷惑相掛申間敷候爲後日田地用水證書仍テ如件

何年何月何日

何

某印

何 某殿

土地ト離レテ自己所有ノ番水ノミヲ賣渡ス場合ハ同ジク當事者間ニ於テ契約書ヲ取交シ、代金ヲ得テ讓渡スルモノナリ。之ハ特ニ第三者ニ對抗シ得ル登記ノ途ナク——土地所有權登記ニハ斯ル事由ヲ

記入スル項目ナシ——唯兩人ノ取交シヲ唯一ノ證據トナスナリ。

番水賣渡證

一、何々水片番

其賣渡代金何々圓

一、右從來字何々番田何反何畝ニ灌溉シアリシ右番水片番前記代金ヲ以テ貴殿ニ賣渡シ申候處確實ナリ而シテ爾後該番水ハ御自由ニ御引用被下度後日彼是異議申間敷爲念賣渡證一札如件

年 月 日

賣 主 何 某

舊幕時代ニ於テハ此契約書ニ親類、五人組、百姓代、組頭、名主等ノ保證人ヲ必要トシ明治ニ至ルモ尙區長ノ奥書ヲ必要トシ居リシモ、明治三十年頃用水權賣買ニ關スル民事訴訟アリ、佐渡區裁判所ニ於テ問題トナリ、其ノ際奥書ヲセシ者ガ證人ニ呼出サレ而モ區長ノ奥書ヲ穩當ナラズトセシヲ以テ以後當事者ノミ契約ヲ取交スコトニナレリ。

尙本訴訟ニ就テハ記錄存セザルヲ以テ精細ハ知り難キモ、問題ハ大體下横山ノ或者ガ他村地籍ニ於テ開田セシヲ他村民ニ賣却セシトコロ、其ノ開田地ニ水利權ヲ附スル證文ヲ與ヘヨト訴ヘシモノニシテ、區裁判所ハ用水權ハ當然土地所有權ニ附隨シテ移轉スルモノニ非ザル慣行ヲ認メタリ。明治初年

ニ於ケル田地賣渡添證券ハ次ノ如シ。

田地賣渡添證券

加茂郡下横山村四百十五番字小澤

一、七等田一反六步

此地價貳拾八圓參拾九錢四厘

右田地貴殿賣渡候處確實也、番水之儀ハ同村加藤武十郎所有水ノ内反步相應ニ御引取可相成候其證仍而如件

明 治 十 四 年

加茂郡下横山村

一札主 何 某

同郡同村

惣代人 何 某

同郡同村何某殿

明治初年ニ於ケル田地ト番水トノ賣買ノ例ハ次ノ如シ。

田地賣渡之證



佐渡國加茂郡下横山村二百七十九番字圓壽島高三反四畝九步之内

一、三等田一反七畝四步

地價六拾參圓七拾八錢八錢

字圓壽島水一番之内

一、番水片番

其賣渡代價五百八拾七圓貳拾七錢五厘

右ハ拙者所有之處今般保證人ニ於テ前顯之地所番水共賣渡書面之代金正ニ受取候處確實也地券之儀ハ御規約之通り御書換相願候然ル上ハ地所番水共永々其許之可爲御所有其證依テ如件

明治十四年十二月

加茂郡下横山村二番地

地所賣渡主 何

某

親類保證人 何

某

何 某 殿

前書之通り相違無之候也

明治十四年十二月十六日

戸 長 何

某

### 第四節 用水權ノ價格

用水權ノ價格ハ田地ノ上下流ノ位置、掛リ水田ノ多少ニ依リテ異ナリ、又當事者間ニ於テ種々ノ價格ノ成立ヲ見ルヲ以テ之ヲ概言スルコトヲ得ザルモ、最近ニ於テ大體ノ價格ト見做サルモノハ、一番ノ番水ニシテ四反步掛ノモノ五百圓、七反步掛ノモノ四百圓、一町步掛ノモノ三百圓ナリ。本年七月ノ賣買事例ニ於ケル價格ハ一番五百圓ナリキ。(上横山ニ於テハ一番二百圓片番百圓) 尙同地方ニ於ケル水田ノ賣買價格ヲ參考ニ掲グレバ次ノ如シ。

上 田 六百圓(反當)

中 田 五百圓

下 田 三百圓

### 第五節 用水權賣買ニ於ケル制限事項

用水權ノ賣買ニ於テ賣買ノ自由ヲ認ムルモ、用水權ノミ有シ土地ヲ有セザルコトヲ許サズ。即チ古田ヲ多少ナリトモ有セザレバ用水權ノミ有スルモ新田ヘノ引水ヲ許サザルナリ。コハ斯ル場合、權利

ノ有效ナリヤ否ヤニ係ラズ古田ノ振水關係ノ土地所有者ガ事實ニ於テ水ヲ支配スルヲ以テナリ。  
故ニ、用水權ノ讓渡ヲ爲スモノハ必ズ古田ヲ有スルヲ常例トシ、又買手モ同地籍ニ關係ヲ有スル土地所有者ニ限ラルルコトニナレリ。

次ニ制限事項トシテ、番水ノ割合ニ關スルモノアリ。番水ノ割合ハ其ノ性質上、實際ノ配水ノ便ヨリシテ之ヲ甚シク細分スルコトヲ得ザルナリ。此ノ地區ニ於テハ七分半ニ分ケシ例外アリシモ、片番(一番ノ半分)ヲ最少トシ、コレ以下ニ分割スルヲ許サズ。

更ニ用水權ハ一種ノ財産權ナルニ疑ヒナキヲ以テ理論上之ヲ質入等ノ目的ニ供スルコトヲ得ルモノニシテ、北米合衆國等ニ行ハレ、又舊幕時代ニ於テ用水權ヲ質入セシコトアリシモ(參照一)今日ニ於テハ行ハレズ。

(參照一)

相渡申番水質物之事

一、用水片番

此質代錢五貫文 但シ無利息

右之錢無據入用有之右之用水御許江質物ニ相渡錢五貫文體ニ借用申所相違無御座候就テハ水下反歩見合御賦可相成候且又何時私共江錢相渡候ハバ用水證文共無相違御返シ可致候若又右番水如何様之

儀申者御座候ハバ水主ニ不及申判形ニ者立會急度埒明御許エ何茂御苦勞懸申問敷爲後日番水質物證文依而如件

文化十五年寅二月

加茂郡下横山村

水質入主	何	某
親類	何	某
立會人	何	某
百姓代	何	某
組頭	何	某
名主	何	某

同村 何某殿

用水權ト小作權トノ關係ハ本地區ニ於テハ小作地僅少ニシテ、實例尠キヲ以テ複雑ナル關係ヲ檢スルコトヲ得ザルモ、用水權ハ小作權ニ伴ハズシテ、假令反別相當ノ水ノ振當ヲ受クルモ其ノ用水費ヲ負擔スルコトナキモノニシテ、通常小作料ヲ用水權ノ存セル土地ノ小作料トセリ。開田ニ對スル制限トシテハ、用水權ヲ有スルモノニアリテ自己所有地續キノ土地ヲ開田スル場合ハ之ヲ默認スルモ、一

般ノ新タナル開田ハ溜池ヲ伴フモノニ非レバ之ヲ許サザルナリ。

尙今日、用水權ノ賣買ヲ認ムルモ、其ノ賣却ハ甚ダ少クシテ寧ロ希望者多キハ如何ニ用水不足ニ苦シムカヲ物語ルモノニシテ、コハ旱魃ニ會シ一般水田ノ收量半減セシ場合用水權者ハ多ク其ノ影響ヲ蒙ルコトナク、而モ年々用水不足ヲ訴フル今日溜池等ノ施設ニヨリ多大ノ費用ヲ掛ケテ用水ノ補給ヲ圖ランヨリハ用水權ヲ留保スルヲ得策トスル事情ニ依ルナリ。

#### 第四章 立野ニ於ケル用水權トノ比較

長江川筋ニ於テ番水ヲ用水權ノ内容ニ含ミ、用水權ノ賣買ヲ許ス地區ハ上、下兩横山ニシテ其ノ諸事情ニ付テハ上述ノ如キヲ以テ、同一ノ長江川ヨリ引水セル他ノ地區ニ於ケル用水權ノ内容ハ如何ナルモノニシテ、其ノ權利ノ賣買セラレザル事情如何ヲ一瞥スルノ要アリ。

此ノ例ニ立野ヲトリテ見ン。立野ハ三ツ江ニ於テ上、下横山ノ大江、中江ト分レ、三ヶ村江口ニ於テ三瀬川、本郷ト分水セル用水ヲ引用ス。コノ三ヶ村江口ニ於テ用水不足ノ際ハ番水トナリ、三瀬川ニ番本郷一番、立野四番ノ持分ニ於テ配水セラル、コトハ上述ノ如シ。

一度其ノ用水ガ立野地區ニ入ラバ、見斷——分水堰——ニ依リ十七ニ割ラレ、各地區ニ導水セラルルモノニシテ立野ノ内部ニ於テハ江筋ニ於テ番水ニ依リ配水セラレタル用水モ均分配水即チ定流トナリテ、分水セラル、ナリ。十七ニ割リシ所以ハ本地區ニ於テハ古田ガ十七町歩アリ、コノ反別割ニ分水セントセシモノナルベシ。

立野ニ於テハ斯ク地區内ニ於ケル配水ガ原則トシテ均分配水ナルヲ以テ掛リ水田ヲ離レテ引水スルコトヲ得ズ、用水權ハ田地ニ附隨シテ移轉スルモノナリ。用水權ノ内容モ亦三ツ江ニ於テ配水セラレタル水ガ見斷ニ刻マレタル割ニ於テ古田新田ニ係ラズ配水セラレ各自其ノ所有田面積相應ニ引水シ得ル内容ノモノニシテ、番水トノ關係ハ其ノ江口タル三ツ江ニ於テ影響シ、長江川本流ニ對スル關係ニ於テ其ノ用水權ノ全體ニ付同一關係ニ於テ其ノ内容ニ含マルモノナルヲ以テ、各自用水權者相互間ニハ土地ヲ離レタル權利ノ内容ニ於テ優劣等ノ差ナク、強ヒテ其ノ差違ヲ求ムレバ配水ノ處置ニ古田、新田ニ前後ノ差アルノミナリ。

但シ、旱魃時ニ於テ或特定地區ニ引水ヲ融通スル場合アリ、關係者ニ申出デ其ノ承認ヲ經テ見斷ヲ動カシ、古田面積ノ割合ヲ總合シテ所謂上ゲ水、下ゲ水ヲ行フモ、之ハ横山ニ於ケル如ク用水權ノ内容ニ含マレタルモノ即チ權利トシテ融通ヲ請求シ得ルモノニ非ズシテ、關係者ノ承認乃至ハ默認ニ依リ例外的ニ行ハルルモノナリ。而モコノ水ノ處分ハ専ラ水物代ガ監督指揮シテ行ヒ、一般配水ハ平等ヲ原則トセリ。

依是觀之、地勢同一ノ上江筋ノ用水ニ於テ各自ノ用水權ニ差等ヲ附セズ其ノ賣買ノ事例ナキハ第一

ニ權利ノ土地ヲ離ル、事情ヲ生ゼザリシコト即チ番水ガ三部落ノ間ニ於テ行ハレ部落内ニ於テハ定流  
シニ依リシコトヲ擧ゲザル可カラズ。

以上ニ依リ、立野ノ用水權ト對照シテ上、下兩横山ノ用水權賣買事情ヲ見レバ、兩横山ノ用水權賣  
買ヲ生ゼシ主要ナル事由ハ前記水利經濟ノ原則ヲ別トシテ

一、番水制度ヲ採リシコト

一、番水ノ支配權ヲ人ニ認メタル特殊ノ社會的事情ノ存セシコト

一、定流ニ依リテ地區ニ入りシ水ヲ部落内ニ於テ流末ニ至ル迄番水ヲ行フ分水方法ヲ採リシコト

ノ三ニ在ルトスルヲ適當トス。

因ニ、旱魃時ニ於テ引水セル用水ヲ各水田ニ萬遍無ク灌水セシムルヲ水利經濟上良法トスルヤ或ハ  
其ノ用水ヲ特定水田ノミニ集中スルヲ良法トスルヤハ相當調査ヲ要スル問題ナルヲ以テ云々スルコト  
ヲ得ザルモ、上、下兩横山ニ於テ番水ノ支配ヲ確定シ、之ニ從ヒテ配水セバ、水ノ利用トシテ關係利  
用者ハ各自之ヲ丁寧ニ處理シ、ウエストスル水ヲ可及的ニ減少セシムルコトニナリ、此ノ點ニ於テハ  
用水權賣買ノ效果ハ強チ水利經濟上不利ナリト云フヲ得ズ。

### 附 新保川筋農業水利慣行

長江川筋ノ農業水利慣行ニ於テ上述ノ如ク用水堰中上、下横山二部落ガ其ノ特殊ノ社會的事情或ハ  
其ノ採用セシ分水方法ニ基キテ用水權ノ賣買ノ手段ニ依リ水利經濟ノ圓滿ヲ圖ル事情ヲ見タリ。

次ニ、長江川ノ灌溉スル地區附近ニ在ル用水ニ付キ其ノ水利慣行ノ一般ヲ瞥フ可ク、吉井村ノ一部  
竝ニ隣村金澤村一圓凡ソ四百町歩ヲ養フ新保川ノ農業水利慣行ヲ概説シ、參照セン。

新保川ハ長江川ト等シク金北山ヲ水源トシ北流シテ佐渡ノ中央部國中平野ノ中央ニ來リ國府川ニ注  
グ。上流部新保字川東地點ニ存スル佐渡電氣會社ノ發電所ニ於ケル調査ニ依レバ洪水量十二個、平水  
量六——七個、渦水量四個ニシテ、長江川ヨリ稍流量多キ溪川ナリ。

主ナル用水堰ヲ見ルニ、最上流ニ於ケル用水堰ヲ一之堰（一名藤五郎堰）ト稱シ、支配反別八町歩右



岸ヨリ引入レ、次ニ澱江堰(左岸取入、支配反別十六町步)大堰(左岸支配反別二二八町六反)下江(右岸、支配反別三八町一反)思川(右岸、七町五反)岩江(左岸、四十九町三反)ノ順ニシテ、其ノ間ニ定流アコウナガシノ小堰數多アリ全部二十三ヶ所ノ用水堰アリ。

各堰ハ何レモ元龜年間ヨリ天正年間ニ至ル間ニ建設セラレシモノニシテ、文化年間ニ協定セシ分水法ニ依リ分水シ居レリ。

農業水利制度トシテハ全體ヲ一括セル團體ナク藤五郎、下江兩堰ノミ西郷普通水利組合ヲ設立シ(明治三十二年)金澤村長之ヲ管理スルノミニシテ、他ハ水配人ヲ置キ關係區域ニテ堰番ヲ附シ引水ス。分水慣行 文化年間ニ協定セシ分水法ガ今日尙嚴守サレ、先ヅ藤五郎堰ガ全水量ノ半分ヲ引水シ、殘リノ部分ヲ大堰、下江、思川、岩江ガ之ヲ四十一ニ分割シテ

大堰	一八
下江	九
思川	七
岩江	七

ノ割當ヲ有ス。

其ノ引水順位ハ次ノ如シ。

大堰(三)→思川(二)→下江(一)→大堰(二)→岩江(二)→下江(一)→大堰(三)→

思川(二)→下江(一)→大堰(二)→下江(一)→岩江(二)→下江(一)→大堰(三)→  
 思川(二)→下江(一)→大堰(二)→岩江(二)→下江(一)→大堰(三)→下江(一)→  
 思川(二)→下江(一)

一番ノ分水時間ハ三升樽ニ入レタ水ヲ落ス間ノ時間——古クハ分水時間ヲ草靴一足ヲナフ時間トセシモ、之ニテハ其ノ巧拙ニ依リ時間ニ長短ヲ生ゼシヲ以テ三升樽ニ替ヘタリ——ニシテ、約十五分ヲ要シ、各其ノ番ニ應ジ交代ニ分水ス。コノ四十一番ノ分割ニヨル番水ハ全地區ヲ一日ニテ循環スル仕組ナリ。

各堰ノ持分ハ如何ナル根據ニ基キテ之ヲ定メタルヤハ文化年間ノ協定ノ趣旨詳ナラズシテ不明ナルモ、一、二例ニ依リ推察セバ、反別割ノミニ依リ割當タルモノニ非ズシテ、地勢的條件、引水ノ便否等ヲモ考慮シテ定メタルコトハ明カナリ。

例ヘバ藤五郎堰ガ灌溉反別八町步ナルニモ不拘、新保川ノ全量ノ半分ヲ引水セル如キ、或ハ下江堰ガ支配反別三十八町步ナルニ不拘番水九番ヲ有スル如キハ必ズシモ面積ヲ基トセルモノニ非ザルナリ。之ハ藤五郎堰ニアリテハ其ノ引水ハ下江三十八町ガ主トシテ此堰ノ落水ニ依リ灌溉サルルト、藤五郎堰ガ堰元タル優位ノ地位ニアル地勢的條件ニ依ルコト大ナルモノニシテ、尙下江ニアリテハ、下江、思川、岩江ハ共ニ七番ヅ、番水ヲ有セシモ、下江ハ藤五郎堰ノ水ヲ保護スル必要上堰番トナリ、

其ノ報酬トシテ番水二番ヲ得シモノナリ。即チ新保川ノ番水費用ハ之ヲ下江ノミニ於テ負擔シ他ハ負擔セズ番水ニ得點ヲ與ヘテ其ノ報酬トセシナリ。

新保川筋ノ分水ハ上述ノ如キ順位、持分ニ依ル番水ナルモ、一度堰筋ニ入ラバ其ノ配水方法ハ如何。大堰ノ堰筋ノ配水方法ヲ見ルニ、之ハ見斷ニ依ル分水ニシテ其ノ割合ハ次ノ規定帳ノ如シ。

大堰及江筋規定帳

東組	百二十五町七反
西組	百二町八反
計	二百二十八町六反



江ヨリノ配水ニハ別ニ水配人ヲ置カズ、最流末ノ土地ニ至ル迄番水ノ順位ヲ一定セシメ、唯堰番ノ費用(反當米一石二斗)ヲ地主、小作共ニ負擔ス。

岩江、思川ハ配水區域ヲ定メ、其ノ區域内ノ配水ヲ水配人ノ差圖ニ委セ其ノ費用ハ地主、小作共ニ負擔シ、用水路ノ改修費ノミハ地主之ヲ負擔ス。但シ新保川ノ川筋ノ改修工費ハ新保川水害豫防組合ヲ組織シ、縣費補助ニ依リ行フ。

新保川ハ長江川ト稍地理的條件等シキモ、其ノ分水方法ハ川筋ノ各江間ニ番水ヲ行ヒ江筋ニ入りシ後ハ大堰ヲ除キ定流ニテ、長江川ノ川筋ニ於テ定流、江筋内ノ配水ヲ番水トセル分水慣行ト異ナリ、其ノ用水權モ亦土地ニ附隨セルモノトシ移轉ノ慣行ヲ有セズ。立野ニ於ケル用水權ノ内容ト似タルモノナリ。

尙、國府川ニ就キテハ、國府川左岸平野ヲ灌溉セル新穂川、大野川共ニ番水ニ依ル分水ヲ行ヒ複雑ナル慣行ヲ有スルモ、番水ノ順位ハ川筋ニ於テ晝夜別ニ行ハレ、小刻ノ堰筋内ノ番水無ク、從ヒテ各人ノ用水權ノ移轉ヲ見ル餘地ヲ生ゼザルナリ。

佐渡ニ於テ用水權ノ賣買ヲナス地區ハ上、下兩横山ノミニシテ、唯吉井村隣村加茂村羽吉其他ニ於テ江ヲ掘鑿セシ者ガ其ノ後江ヲ利用スルモノヨリ反五升ノ米ヲ徵收スル權利ヲ有シ、更ニ田地ヲ新ニ作リシモノハ江ノ利用ガ直接ナルト間接ナルトヲ問ハズ反二斗ノ米ヲ徵收スル權利ヲ有スルモノアル

慣習ヲ見ルノミナリ。

二、宮崎縣西臼杵郡岩戸村水株權ニ關スル調査

目次

第一章 岩戸普通水利組合概説……………四一

  第一節 岩戸川水利概況……………四一

  第二節 岩戸普通水利組合ノ設立概況……………四二

  第三節 組合ノ現勢……………四三

第二章 水株權ト組合トノ關係……………五六

第三章 水株權ト用水權トノ關係……………五八

第四章 水株權ノ法律の性質……………六〇

第五章 農業水利契約事項……………六二

第六章 水株權ノ公示方法……………七〇

  第一節 開田臺帳……………七〇

  第二節 權利外灌漑面積ノ處置……………七三

  第三節 水株權ノ貸貸借……………七五

第七章 水株權ノ賣買讓渡……………七六

  第一節 水株權ノ移轉……………七六

  第二節 水株權ノ賣買形式……………七七

  第三節 水株權ノ價格……………七七

第一章 岩戸普通水利組合概説

第一節 岩戸川水利概況

岩戸普通水利組合ヲ概説スルニ先立テ、同組合ノ用水源タル岩戸川ニ付其ノ水利狀況ノ大略ヲ述ベ  
ン。

岩戸川ハ九州山系ノ本谷山附近ニ源ヲ發シ、南流シ、岩神附近ニ於テ土呂久川ヲ併セ、三田井附近  
ニ於テ五箇瀨川本流ニ合スル五箇瀨川ノ一支流ナリ。

古生層ノ山岳間ヲ埋メタル阿蘇熔岩ヲ侵蝕シテ成レルモノニシテ、河床ハ岩盤ヨリ成リ河中ニ、三  
間深サ十尺乃至三十尺ニ刻刻セラレテ流路ヲナセル所多ク、所々ニ河幅廣ク砂礫轉石ヲ存スル所アリ。  
勾配百分ノ一許ナレド流域面積小ニシテ流量少シ流量ニ付キテハ調査無之ヲ以テ正確ナル數字ヲ擧グ  
ルコトヲ得ザルモ、本川ヨリ取入ルル用水ノ許可水量ヲ掲ゲレバ次ノ如シ。用水ノ主ナルモノハ上流  
ヨリ日向耕地整理組合、山裏普通水利組合、岩戸普通水利組合、高千穂耕地整理組合、岩戸耕地整理  
組合ノ五ツナリ。灌漑反別ハ約二三〇町許ナリ。

許可水量	灌漑面積
四個	一九・八町
日	向



目次

第一章 岩戸普通水利組合概説……………四一

  第一節 岩戸川水利概況……………四一

  第二節 岩戸普通水利組合ノ設立概況……………四二

  第三節 組合ノ現勢……………四三

第二章 水株權ト組合トノ關係……………五六

第三章 水株權ト用水權トノ關係……………五八

第四章 水株權ノ法律の性質……………六〇

第五章 農業水利契約事項……………六二

第六章 水株權ノ公示方法……………七〇

  第一節 開田臺帳……………七〇

  第二節 權利外灌漑面積ノ處置……………七三

  第三節 水株權ノ賃貸借……………七五

第七章 水株權ノ賣買讓渡……………七六

  第一節 水株權ノ移轉……………七六

  第二節 水株權ノ賣買形式……………七七

  第三節 水株權ノ價格……………七八

第一章 岩戸普通水利組合概説

第一節 岩戸川水利概況

岩戸普通水利組合ヲ概説スルニ先立チ、同組合ノ用水源タル岩戸川ニ付其ノ水利狀況ノ大略ヲ述ベシ。

岩戸川ハ九州山系ノ本谷山附近ニ源ヲ發シ、南流シ、岩神附近ニ於テ土呂久川ヲ併セ、三田井附近ニ於テ五箇瀬川本流ニ合スル五箇瀬川ノ一支流ナリ。

古生層ノ山岳間ヲ埋メタル阿蘇熔岩ヲ侵蝕シテ成レルモノニシテ、河床ハ岩盤ヨリ成リ河中ニ、三間深サ十尺乃至三十尺ニ削刻セラレテ流路ヲナセル所多ク、所々ニ河幅廣ク砂礫轉石ヲ存スル所アリ。勾配百分ノ一許ナレド流域面積小ニシテ流量少シ流量ニ付キテハ調査無之ヲ以テ正確ナル數字ヲ擧グルコトヲ得ザルモ、本川ヨリ取入ルル用水ノ許可水量ヲ掲ゲレバ次ノ如シ。用水ノ主ナルモノハ上流ヨリ日向耕地整理組合、山裏普通水利組合、岩戸普通水利組合、高千穂耕地整理組合、岩戸耕地整理組合ノ五ツナリ。灌漑反別ハ約二三〇町許ナリ。

日	許可水量	灌漑面積
向	四個	一九・八町

山	裏	二・〇	一三・〇
岩	戸(普)	八・〇	六二・〇
高	千穂	一三・〇	一〇七・〇
岩	戸	一・五	一九・八

### 第二節 岩戸普通水利組合ノ設立概況

明治二十七、八年ノ頃岩戸村民有志相圖リテ岩戸一圓ヲ開田セントシ疏水事業ヲ企ツ。先ヅ明治二十八年九月水路測量ニ着手シ明治二十九年三月用水路關鑿工事ニ着手セリ。然シテ明治三十四年二月工事竣工スルニ至レリ。

用水源ハ之ヲ岩戸川上流ニ求メ、岩戸村大字山裏、野々尻下ニ於テ玉石コンクリート堰堤ニテ堰上ダ、各山谷ヨリノ水ヲ容ル、モノニシテ、延長水路五里二十二町四十間ニ及ビ水路ハ所々石張コンクリート張ニシテ岩戸村大字岩戸字大平中ノ谷ニ於テ岩戸川ニ出ヅルモノナリ。

地區ノ形狀ハ岩戸川筋沿ヒ帶狀ノ細長キ高臺地ナリ。

本企業ニ付キテハ明治三十一年五月資金調達ノ便宜竝管理ノ都合ヨリシテ水利組合條例(水利組合法ノ前身)ニ基キ豫定關係地一圓ヲ組合地域トシテ岩戸普通水利組合ヲ設立セリ。

設立當初ニ於テハ、組合員各自負擔額ニ應ジテ組合員ノ持分ヲ定メ、持分一口ニ付五反歩ノ開田ヲ豫定シ、口數百二十四口分計六十二町ヲ目標トシ、之ヲ組合區域トセリ。

此ノ水路關鑿工事ニ要セシ總工費ハ二萬七千七百七十二圓ニシテ、夫役人員約三萬一千六百六十二人ナリキ。

資金調達ニ付キテハ組合債トシテ初メニ金一萬二千圓、其ノ後ニ五千圓計一萬七千圓ヲ借入シ、個人ヨリノ借入金ハ七千八百十圓ニシテ、組合員各自負擔額ハ二千九百六十二錢ナリキ。

### 第二節 組合ノ現勢

本組合ハ其ノ設立ガ資金調達ノ便宜上ヨリ出デ開田豫定地ヲ組合區域ニ編入シテ普通水利組合ヲ設立セシコトハ前述ノ如シ。當時他ニ土地改良ニ關シ適當ノ獎勵法規無カリシヲ以テ斯ル便法ヲ許セルナルベシ。

其ノ後普通水利組合トシテ漸次開田面積ヲ擴張シツ、來リシモ、大正四年七月五日同組合地域ニ於テ開田ヲ目的トセル岩戸耕地整理組合ヲ設立セリ。コノ耕地整理組合ハ水路ノ新設ヲ主トシ、開田ハ地主ノ勞力ヲ以テシ、其ノ事業ノ目的、財務、管理機關ニ於テ岩戸普通水利組合ト稍同一ノ内容ヲ有シ、兩者ヲ嚴密ニ區別スルコトヲ得ズ。從ツテ、水利問題トシテハ岩戸普通水利組合ハ岩戸耕地整理

組合ト共通ノ事情ニ在ルモノト見ル可ク特ニ耕地整理組合トシテハ記セズ。

備考

岩戸耕地整理組合概要

設立認可 大正四年七月五日

事業ノ目的 開墾、地目變換、地區外用水路新設

従前面積 田 〇、七二一五町

畑 二八、八〇一五町

山林原野 三、二四二九町

計 三二、七七二九町

豫定面積 田 三二、三五町

工事費 八四四一・九八圓(水路費)

開田ハ地主ノ勞力ヲ以テス、費用ヲ計算セズ

組合員 一三三人

岩戸普通水利組合ハ岩戸村大字岩戸、山裏ノ二大字一圓ヲ區域トシ、現在ノ規定開田面積ハ八十二町八反歩ナリ。取入水量ハ約六個ニシテ、其ノ井手下人員ハ三百五十一人ナリ。其ノ内譯ハ次ノ如シ。

普通水利組合 一八四人

耕地整理組合 一六七人

本組合ハ組合用水路ニ關スル諸般ノ設備ヲ修築保存スルヲ以テ目的トシ(組合同約第二條)組合事業トシテ灌漑用水ノ分配、其ノ他ノ水路ノ維持管理等ヲ爲シ、(組合同約第卅一條)開田ハ個人ニ之ヲ委シ、彼等ノ費用勞力ニ依リテ行ハシム。

現在ノ開田制限面積ハ一口ニ付普通水利組合ハ五反五畝、耕地整理組合ハ一反七畝計七反二畝ニシテ、現在株數ハ百十五株ナリ。

備考

岩戸村農家一戸當耕作反別

田 三反四畝十歩

畑 四反二畝六歩

岩戸普通水利租合規約ハ別紙ノ如シ。

岩戸普通水利組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ岩戸普通水利組合ト稱ス

第二條 本組合ハ灌溉ノ爲メ岩戸村大字山裏字野々尻ヨリ同村大字岩戸字中ノ谷ニ通スル水路ニ關スル諸般ノ設備ヲ修築保存スルヲ以テ目的トス

第三條 本組合ノ區域ハ舊慣ニ依リ之ヲ定ムルコト左ノ如シ

西舊杵郡岩戸村大字山裏字栗ノ木、山、立平、鹽井ノ平、尾迫平、森ノ平、春女登、本谷平、原ノ園桃ノ戸尾迫、中尾、大猿渡、大野、奥平、同郡同村大字岩戸渡内、戸ノ口原、門谷尾霜、黒原、堺ノ谷、桂ノ谷、馬生木、岩神上、白土地、岩神、上下馬場、有富、中ノ園、鶴門、川井ノ内、布城、河地、左目木、松ノ木馬場、西ノ迫、土葉美、鹽井ノ谷、馬脊野、立石、左目木、日向、神殿、馬場先、七折坂、尾ノ上、極殿、石神下、石神上、尾戸ノ口、岩下、戸野口、大平上、大平下、中ノ谷、鳶ノ巢ノ一圓

## 第二章 組合會ノ組織及選舉

第四條 組合會議員ノ定數ハ十人トス

第五條 組合員ニシテ滿二十五年以上ノ男子區域内ニ於テ土地反別七畝十五歩以上選舉期日前滿一年以上間斷ナク所有スル者ハ選舉權ヲ有ス禁治産者準禁治産者ハ此ノ限ニアラス  
家督相續ニ依リ土地ヲ所持シタル者ハ其ノ土地ニ付被相續人ノ所有シタル年限ヲ通算ス  
共有者其ノ共有ノ土地ニ付前二項ニ該當スルトキハ總代一人ヲシテ選舉權ヲ有セシム

六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者及舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレ復權ヲ得サル者ハ選舉權ヲ有セス

第六條 選舉權ヲ有スル者租稅若クハ本組合費滯納處分中ハ其ノ選舉權ヲ停止ス、家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スル迄又ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ事變ニ際シ召集セラレタル時亦同シ

第七條 組合員ニシテ區域内ニ於テ所有スル土地ノ段別選舉權ヲ有スルモノ、最モ多ク所有スル者三人中一人ヨリモ多キトキハ第五條第一項ノ要件ニ當ラスト雖モ選舉權ヲ有ス但シ前條ノ場合ニ當ル者ハ此限ニアラス

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

第八條 選舉權ヲ有スル組合員ハ被選舉權ヲ有ス但シ前條及第五條第三項ニ該當スル者ハ此限ニアラス、左ニ掲ル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一、所屬縣郡ノ官吏及有給吏員

二、組合ノ有給吏員

## 三、檢事警察官吏及收稅官吏

## 四、神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

## 五、小學校教員

組合ニ對シ工事ノ請負物件勞力其ノ他ノ供給契約ヲ爲シ若ハ組合ノタメ金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ組合會議員タルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナルトキハ年長者ヲ當選トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

管理者又ハ其ノ代理者トノ間ニ父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ組合會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其ノ緣故アル者管理者ニ指定セラレ又ハ其ノ代理者ト爲リタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フ

## 第九條 組合會議員ノ任期ハ四年トス退任議員ハ再選セラル、コトヲ得

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲メ解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲メ新ニ選舉セラレタル議員ハ次ノ總選舉迄在任ス

## 第十條 組合會議員中關員ヲ生シ其ノ缺員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ監督官應ノ

命令アリタルトキ又ハ管理者若ハ組合會ニ於テ必要ト認メタルトキハ補缺選舉ヲ行フヘシ補缺議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

## 第十一條 管理者ハ選舉期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

管理者ハ其ノ選舉期日前二十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ五日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄指定ノ場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アル時ハ縱覽期間内ニ管理者ハ縱覽期限後三日以内ニ組合會ノ決定ニ付スヘシ組合會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ管理者ハ其ノ確定期日迄ニ修正ヲ加フヘシ選舉人名簿ハ選舉期日ノ前三日ヲ以テ確定ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ四年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキ亦同シ但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニアラス

異議ノ決定アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製縱覽

修正及確定ニ關スル期日及期限等ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル天災地變等ニ依リ名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉ノ期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縦覽修正及確定ニ關スル期日等ハ前選舉期日ニ依リ之レヲ算定ス

第十二條 選舉ヲ行フトキハ管理者ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前選舉會場投票ノ日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示ス

投票期間内ニ選舉會場ニ入りタリ選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第十三條 管理者ハ選舉長トナリ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス管理者ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ

選舉立會人ハ名譽職トシ實費辨償ヲ受クルコトヲ得其ノ額ハ組合會ノ議決ニ依ル

第十四條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此限ニアラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ會場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ選舉會場外ニ退去セシメランタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉會場閉鎖後ハ此ノ限ニアラス

第十五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ自ラ選舉會場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シタル後選舉長ヨリ投票用紙ヲ受取り投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投票スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

投票用紙ハ管理者ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

第十六條 増員選舉補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第十七條 第七條第一項及第二項ニ依リ選舉權ヲ有スルモノハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ滿二十五年以上ノ男子ニ非サル者禁治產者及準禁治產者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ滿二十五年以上ノ男子ニ限ル

第五條第四項及第六條ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長ニ示スヘシ第五條第三項ノ總代人モ亦此ノ例ニ依

第十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二、現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三、一票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 四、被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 五、被選舉權ナキモノノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六、被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニアラス

第十九條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十條 組合會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シトキハ年長者ヲ取り年齡同シトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シテ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十二條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ管理者ニ申立ツヘシ

第二十三條 組合會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ第二十條ノ例ニ依リ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ム

第二十四條 得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲メ又ハ被選舉權ヲ有セサル爲メ其ノ他當選無効ト確定シタルトキハ第二十條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ム

第二十五條 選舉人ハ當選無効ト確定シ又ハ議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ル能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ更ニ選舉ヲ行フヘシ

### 第三章 組合吏員ノ組織及選任

第二十六條 本組合ニ常設委員十一人ヲ置キ組合員中被選舉權ヲ有スルモノニ就キ組合會之ヲ選舉

ス

委員ハ庶務委員九人及分水委員二人トシ管理者ノ指揮監督ヲ承ケ左ノ事務ニ従事ス

一、庶務委員ハ其ノ擔當區域内ニ關スル組合事務ヲ分掌處辨ス

但シ擔當區域ハ組合會ニ於テ議決ス

二、分水委員ハ水路ノ巡視、分水開田反別ノ調査ヲナス

第二十七條 委員ニシテ其ノ資格ノ要件ヲ喪失スルトキハ其ノ職ヲ失フ

第二十八條 委員ノ任期ハ二年トス退任委員ハ再選セラル、コトヲ得

第二十九條 委員中副員ヲ生シタルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ補闕委員ハ其ノ前任者ノ殘任期間存

在ス

第三十條 本組合ニ左ノ有給吏員ヲ置ク

一、書記 四人

第四章 事業

第三十一條 本組合事業ノ梗概左ノ如シ

一、灌溉用水ノ分配

二、水路間ノ溪流ヲ引キ支線ヲ開通シテ本線ノ水力ヲ増加ス

三、旱魃用トシテ溜池ヲ築設ス

四、非常旱魃ノ際ニ於ケル配水樋管ノ設置及其ノ開閉分水ノ目標ヲ構成ス

五、水路ノ浚深堤防堰塘ノ修築ヲナス

六、水源涵養ノ爲メ杉ヲ栽植ス

七、水路中水車設置ノ爲メ破壊シタル部分ハ管理者ノ指揮ニ從ヒ水車所有者之ヲ修築スルモノト

ス

第五章 組合費及夫役現品ノ賦課

第三十二條 本組合ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ組合員全部又ハ一部ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外組合費又ハ水受反別ヲ準率ト爲シ且ツ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ヲ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三十三條 夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ管理者ハ期限ヲ指定シテ督促スヘシ其ノ急迫ノ場合ニ賦課シタルモノニ付テハ更



ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

第三十四條 督促令狀ヲ發シタルトキハ一通毎ニ金貳拾錢ノ手数料ヲ徵收ス

第三十五條 村外ニ在ル滯納者ニ對シ督促令狀ヲ發付スルトキハ前條ノ外尙左記ノ區別ニ從ヒ増手

數料ヲ徵收ス

一、脚夫ヲ以テスル場合ハ一里毎ニ金拾錢

二、郵便ヲ以テスル場合ハ其ノ郵便料

第三十六條 督促手数料ハ滯納金額ト同時ニ徵收ス

#### 附 則

第三十七條 從來ノ組合會議及組合委員ハ本規約施行ノ日ヲ以テ自ラ解職スルモノトス

第三十八條 組合員ニシテ滿二十五年以上ノ男子區域内ニ於テ土地反別七畝十五歩以上ヲ所有スル

者ハ本規約施行ノ日ヨリ滿一年間ハ第五條第一項ノ土地所有年期ニ依ラス選舉權ヲ有ス

### 第二章 水株權ト組合トノ關係

普通水利組合ハ組合事業ノタメ利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシ、其ノ區域内ニ於テ土地ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トシ、組合費ハ土地ニ對シテ之ヲ賦課スルヲ原則トセル區域團體ナリ。

而モ未耕地ト雖モ若シ組合水路ニ付權利ヲ有スル場合或ハ未耕地ノ所有者ノ同意アルモノニアリテハ之ヲ地區ニ編入シ得ルモノナリ。斯ル場合未耕地ノ所有者ハ既耕地ノ所有者ト同様ニ規約ニ規定セル組合費ノ負擔ヲ爲ス義務ヲ有スルモノナルコトハ勿論ナリトス。

本組合ニ於テハ組合水路ニ灌溉セラレテ、開田地タリ得ル土地過半ヲ占メ、此等ノ土地ハ開田シ、水路ニ依リ灌溉セラレテ後初メテ組合ノ利益ヲ受クルモノナリ。而シテ、一々ノ土地ニ付キテ之カ組合地區ナリヤ否ヤヲ知ル明確ナル調査無ク、關係一帶地域ヲ組合地域トシ、此關係地域ナルモノモ、當初水路開鑿工事ニ關係シ、之ニ資本ト勞力トヲ支拂ヒシ人ヲ中心ニ換言セバ人的關係ニ依リテ其ノ關係地域ヲ定メシナリ。

從ヒテ、地域團體タルヲ本來ノ特質トセル普通水利組合ニ於テ、斯ル人的關係ニ依ル地域決定ニ對シ何等カ組合員タル資格ノ權利義務關係ノ明示ヲ必要トス。

コ、ニ水株制度ナルモノヲ試ミ、水路開鑿ニ際シ協力セシ人々ニ各自ノ負擔額ニ應ジテ其ノ出資ノ持分トシテ株ヲ割當テ而シテ今後ノ用水使用ノ權利ヲ其ノ株ノ持分ニ係ハラシメタリ。

從ヒテ、組合規約第三條ニ示サレ居ル組合區域ハ同區域内ノ株ヲ有スル土地所有者ノ耕地ヲ觀テ初メテ明瞭ナル組合區域ヲ知ルヲ得ルナリ。

一般普通水利組合ニ於テ組合區域ノ土地所有者ハ直チニ組合員タルヲ原則トセルモ、本組合ニ於テ

ハ單ニ組合地域(組合規約ニ規定セル地域)内ノ土地ヲ所有スルノミニテハ組合員トシテ充分ナラズシテ、組合地域内ノ土地所有者ニシテ、而モ株ヲ有スルモノガ組合員タル權益ヲ享受スルコトヲ得ルナリ。

サリトモ亦、株ヲ有スルノミニテ組合員トシテ充分ナルモノニ非ズシテ組合區域内ノ土地所有者タルコトニ依リ完全ナル組合員ノ資格ヲ有シ得ルナリ。即チ、組合區域外ノ土地所有者ニシテ株ヲ有セバ、水利使用ノ權利ヲ得ルコトニナルモ、組合員タラズ、斯ル場合ハ例外的取扱ヲナスニ過ギズ。組合ノ内規ニ依レバ

「株權ヲ水利組合區域外ニ賣買讓渡ヲナストキハ區域内ニ於テ直接國稅三圓以上ヲ納ムルモノヲシテ組合費及夫役ノ代辦者トナシ管理者ニ届出セシム」ト規定セリ。

斯クシテ、組合區域内ノ土地所有者ニシテ、株ヲ有スルモノガ完全ナル組合員ニシテ、組合ノ負擔ハ株ニ分配シ、株主タルモノハ、總テ組合ノ費用及疏水修繕費並組合負債ヲ分擔スルノ義務ヲ有ス。

### 第三章 水株權ト用水權トノ關係

組合員タルコトノ資格ハ水株權ヲ所有スルモノニ依リ明示セラル、モノナルコトニ付テハ前述ノ如

シ。

本組合ハ水路開鑿ニ當リ岩戸川ノ水利使用ノ權利ヲ獲得シ(註)今日ニ於テ適法ニ引水シ居ルモノニシテ、其ノ用水權ハ組合自體ノ手ニアルカ或ハ組合員各自ノ共有ナルカ何レカニ歸屬セリ。

(註) 明治二十七年三月宮崎縣令第二十八號土工修築規則ニ依リ許可セラレタリ。尙土木工事起工規則ハ明治三十六年七月一日ヨリ施行セラレタルモノナリ。

用水權ノ歸屬ニ付、先ヅ用水路裏ノ歸屬如何ヲ見ルニ、用水路敷ノ所有權ハ設立當初ハ個人有ナリシモ、其ノ後無償ニテ組合ノ所有ニ移シ、今日ハ組合有ナリ。而シテ本組合ハ公法人ナルヲ以テ、其ノ維持管理ハ組合機關ニ依リナサレ、管理者ハ當該岩戸村々長ナリ。組合機關ニ付キテ注意ヲ要スベキハ組合ノ總テノ問題ガ組合員ノ選舉セル組合會ニ依リテ處理セラレ、株主タル組合員ガ之ニ關與スルコト勿論ナルモ、選舉ニ於テ株ノ所有高ニ係ハラズ一人一票主義ヲ採レルコトナリ。

然ラバ、組合ガ用水權ノ主體ナリトセンニ、斯ル用水權ノ個人ニ對スル反射ハ株ノ如何ヲ問ハズシテ總テ組合ノ任意ニ之ヲ組合員ニ分チ得ル筋合ノモノナリ。コレハ事實ニ反スルモノニシテ用水權ガ株ノ如何ニ依リ分配セラレ而モ費用負擔ニ付キテモ株ノ持分ニ割當テラル、ナリ。

組合地域内ニ土地ヲ所有スルモ何等引水ノ權利ヲ有セザル點或ハ組合地域外ノ土地所有者ニシテ株ヲ有セル者ガ當然組合員トハ云ヒ得ザルモ引水ノ權利ヲ主張シ得ル點等ヲ用水權ノ主體ヲ決スル特徵

トス。

唯内規ニ於テ設立當初定メタル一株當リ開田面積(五反歩)ヲ組合會ガ變更シ得ルコトヲ規定セルモ、コレハ五反歩以下ニ規約スルコト全然無ク、増加ノ場合ノミヲ豫見シ得ル定メニシテ、株權ノ内容ハ豪モ組合會ノ制限ヲ受クルモノニ非ザルナリ。(今日ハ一株當リ開田制限面積五反五畝ナリ)

次ニ、コ、ニ論ズル用水權ノ範圍ニ付キテ見ルニ、用水權ハ専ラ灌漑ヲ對象トセルモノニシテ、其ノ他ノ飲用水等ニ對シテハ之ヲ一般ノ使用ニ開放シ、一般ノ衛生其ノ他植物ヲ害シ、疏水路ヲ妨ゲズ又使用方法ニ於テ全流ノ水量ヲ減ゼザル範圍内ニ於テノミ家用ニ之ヲ使用シ得ルナリ。

#### 第四章 水株權ノ法律的性質

普通水利組合ノ組合員ノ權利義務ハ凡ソ次ノ如キモノナリ。

- (イ) 水利組合ノ管理ニ屬スル用水ヲ利用スル權利(明治三十年四月卅日行政裁判所宣告)
- (ロ) 組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合會議々員ヲ選舉シ又ハ組合員總會ニ列スル權利(水利組合法第一八條同第三二條)
- (ハ) 組合費ヲ負擔スル義務(同第四八條)
- (ニ) 夫役現品ヲ負擔スル義務(同第四九條)

即チ、組合員タル以上自己ノ所有スル組合區域ノ土地ニ組合事業タル用水ヨリ其ノ灌漑水ヲ引水スル權利ヲ有セルモノニシテ、斯ル權利ハ特定耕地ニ對スル權利ト見ル可シ。而シテ、斯ル權利ニ付キテ、其ノ優劣ノ消長アルモノニ非ザルナリ。唯用水權ノ消長ハ組合員タルコトノ得喪ニカ、ハルノミ。

扱テ、普通水利組合ニ於テ組合員タルコトノ資格ノ獲得、喪失ハ該組合員タルモノノ所有セル土地所有權ノ移轉或ハ該土地ガ組合ノ地域トナリ或ハ地域タラザルコトニナレル場合ナリ。後者ノ場合ハ組合ノ區域變更ニ基クモノニシテ組合會ノ議決又ハ協議ニヨリ、編入ノ場合ハ土地ノ關係者ノ同意ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ之ヲ行フモノナリ(水利組合法第十五條)。從ヒテ組合員ノ資格ガ當事者ノ隨意ニ得喪シ得ザル蓋シ當然ノコトトス。

本組合ニ於テ、土地所有權ノ移轉ニ伴ヒ、株權モ之ニ附隨シテ移轉スルモノナランニ、一般普通水利組合ノ土地所有權ノ得喪ガ組合員タル資格ノ得喪ヲ來ス場合ト同様ニ論ズルヲ得ルナリ。而ルニ、本組合ニ於テハ、普通ノ土地賣買ニハ水株權ガ附隨セザルヲ常トシ、土地所有權ノ取得ノミニテハ引水ノ權利無キヲ以テ、一般普通水利組合ト事情ヲ異ニセリ。

之ニ加フルニ、上述ノ如ク水株權ガ持分ノ多寡ニヨリ引水ニ多少ヲ來シ、或ハ、水株權ハ其ノ内容ノ増加ニ付キテ組合會ノ決定ヲ要スルモ尠クトモ一株當リ五反五畝ノ開田ニ付キテハ之ニ用フル灌漑水ノ引用ヲ請求シ得ルモノナリ。

組合用水ノ分水ニ付キテ、組合員ノ所有水田面積ト株權ノ持分トヲ對比シテ、其ノ分水ガ引水者ノ權限内ノ引水ナリヤ否ヤヲ檢シ、組合區域ノ土地ニ對シ自己ノ任意ニ分水シ得ラル、モノニシテ、水源ノ水量充分ナル場合ハ勿論、水量不足ノ場合モ一定率ノ分水ヲ受ケ得ル事情ニアリ。唯前述セシ如ク、コノ權利ハ一株當リ五反五畝ノ開田ニ對スル權利ナルヲ以テ、一定ノ大サノ面積ヲ對象トシ、直接一定ノ水量ヲ支配スルモノニ非サルナリ。即チ、自己ノ任意ニ其ノ水ヲ自己ノ任意ニ擴大セル地域ニ、利用スルコトヲ得ザルモノナリ。

水株權ハ普通水利組合ノ内部關係ニアリテハ組合員タルノ表示手段ニ過ギズ、株ノ持分ト普通水利組合ノ區域トガ一致セル場合ニ初メテ兩者ノ内容ガ合一スルモノナリ。

### 第五章 農業水利契約事項

制限内面積ノ水田ニ引水スル權利義務ガ株主ニアリ、引水面積ノ多寡ガ株ノ持分ノ如何ニアルコトハ前述ノ如シ。

サリ乍ラ、疏水ノ引用ノ權利ハ個々ニ分屬セルモ、共同利用ナル點ヨリシテ、其處ニ權利者一同ノ申合ニ依ル一定ノ分水方法ヲ必要トス。

コノ分水方法ノ定ハ何等本原タル權利ノ消長ニ係ハルモノニ非ズシテ、旱魃ニ際シ灌溉困難ナル場合ニ於テモ、時間替又ハ入廻シノ番水方法ヲ採リ凡テノ田地ニ順次ニ分水ヲ行フモノナリ。分水方法ニ付キテハ、組合規約ニ於テ規定スルトコロ無ク、單ニ組合員ノ申合トシテ「岩戸普通水利組合員申合規約」ナルモノヲ定メ、水株權ノ登録其ノ他用水費ノ分擔方法等ノ事項ニ併セテ分水方法、分水委員ノ任務、違約行爲ニ對スル制裁等ノ諸事項ノ申合ヲナス。

用水費ノ分擔ニ付キテ株主ガ費用並夫役ノ負擔義務ヲ負フモノナルコトハ前述ノ如シ。用水費ハ反當年一圓、夫役一・五人ナリ。

備考 昭和六年度歳出入豫算

(歳入)	一、組合費	六三二圓
	一、夫役	九一〇圓
	一、其ノ他	
	小計	一、五八三圓
(歳出)	一、管理費	一、〇四七圓
	一、事業費	三三五圓

一、其ノ他

小計

一、五七二圓

臨時歳出 組合債

一一圓

計

一、五八三圓

組合費滞納ニ付キテハ水株權ノ賣買ヲ禁ゼルコト前述ノ如ク、水株權ノ登録ニ付キテハ後章ニ述ブルコトニシ、本章ニ於テハ主トシテ一般ノ分水方法ニ付概敘ス。

分水ニ關シテハ分水委員ヲ設ク(申合規約第八條)、分水委員ハ五名ニシテ、任期二箇年、組合會ニ於テ之ヲ選任ス。有給ニシテ年手當一人當一六〇圓ナリ。分水委員ハ水路ノ保全、分水上ノ保全及清潔維持ノ爲メ又ハ灌溉水ノ濫費ヲ防グ爲メ水路ノ使用及水路附近ノ設備、分水溝ノ構造及其ノ使用灌溉地ノ構造及灌溉ノ状態ニ關シ必要ナル措置ヲナスモノニシテ(同第八條)番水ニ際シテハ一切ノ分水口ノ開閉ノ權限ヲ握リ、其ノ他水利諸般ノ監督ヲ爲ス(同第十條)。

分水ハ其ノ灌溉反別ノ廣狹、地勢ノ狀況ヲ勘案シテ竹筒ノ口径竝ニ本數及ビ差蓋ノ寸法ヲ定メテ其ノ裝置ヲ爲シテ分水スルナリ。

而シテ其ノ竹筒ノ口径竝本數及差蓋ノ寸法ハ組合管理者ガ組合會ニ諮問シテ決定シ(同第五條)其ノ變更モ管理者ノ許可ヲ得テ爲スベキモノトス(同第六條)。

斯ク分水委員ノ分配ヲ俟テ株主之ヲ使用スルモノニシテ其ノ方法一般ニ次ノ如シ。

全流ヨリ支分スル水路ハ必ラズ一部落ノ水田三箇所ヲ疏通シ、然ル後各地ニ細分スルモノトス。

早魃時ニ於テ水量不足セル場合ハ左ノ特例ニ依リ分水ス。

一、水上ノ區域ヲ山裏、黒原、馬生木、永ノ内トシ、水下ノ區域ヲ馬脊野、野方野、大平トシ、晝夜交替ヲ以テ分水スルモノトス。其ノ時間左ノ如シ。

水上ハ午後七時ヨリ午前五時迄トシ水下ハ午前五時ヨリ午後七時迄トス。晝間ハ水上ノ支分水道ヲ塞ギ水下ノ使用ニ充ツルモノトス。但シ分水路ハ分水委員ノ分配ヲ俟テ開閉ス。

二、前項ニ因リ尙不足ヲ告グル場合ハ水利組合會ノ決議ニ依リ灌溉反別ヲ定メ分水スルモノトス。

三、各部落内ノ細分ハ部落間ノ協議ニ任ズルモ本流ヨリ部落ニ分ツ支流ハ分水委員ニ於テ水量ヲ測リ灌溉反別ニ依リ竹筒ヲ嵌入シテ分水スルモノトス。

但シ時機ニ依リ常設委員ニ於テ分水ノ當否ヲ踏査スルコトアルベシ。

水利工作物ノ破壊竝申合ニ對スル違反行爲ニ付キテハ申合規約ニ之ヲ定メ、令達又ハ戒告ヲナシ、之ニ従ハサル場合ハ説諭竝金參圓以上五拾圓以下ノ違約金ヲ徴收ス(同第十四條)。而シテ此等ノ執行ヲ履行セザル場合ハ灌溉ヲ停止シ、更ニ灌溉停止ニヨリ生ジタル損害ニ付組合ハ其ノ責ニ任ゼズト定ム(同第十六條)。

以上農業水利契約事項ノ中主ナルモノヲ概説セルモ、尙、精細ヲ規定セル組合員申合規約ハ次ノ如シ。

岩戸普通水利組合員申合規約

- 第一條 組合員ハ分水灌漑ニ關スル事項ヲ確實ニ履行スル爲メ茲ニ申合規約ヲ締結ス
- 第二條 本組合灌漑制限反別及一株當リ制限反別ハ組合會之ヲ定ム
- 第三條 本組合ニ開田臺帳ヲ置キ地域内灌漑田地ヲ登録ス
- 登錄濟ノ土地ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ新ニ開田ヲ爲シタルトキハ管理者ニ届出ツヘシ
- 第四條 制限反別ヲ超過シ又ハ開田臺帳ニ登録セスシテ灌漑スルコトヲ得ス
- 前項ニ違背シ灌漑スル者ニ對シテハ其ノ灌漑地ノ一部若クハ全部ノ灌漑ヲ停止ス
- 第五條 本組用水路ノ分水口ハ其ノ灌漑反別ノ廣狹地勢ノ狀況ヲ勘案シ竹筒又ハ差蓋ノ裝置ヲ爲スモノトス竹筒ノ口徑竝ニ本數及差蓋ノ寸法ハ組合會ニ諮リ管理者之ヲ定ム
- 第六條 新ニ分水口ヲ設ケ又ハ既設分水口ノ構造ヲ變更セントスルトキハ管理者ノ許可ヲ受クヘシ分水口ノ竹筒差蓋ノ取換竝ニ其水位ヲ變更シ又ハ之ニ著シキ修理ヲ加ヘントスル者、着手前分水委員ノ指揮ヲ受ケ竣功後其檢査ヲ受クルニアラサレハ使用スルコトヲ得ス
- 第七條 火災其ノ他非常災害防禦ノ爲メ急迫セル事情アルニアラサレハ管理者ノ許可ナクシテ堤塘

其ノ他水路ノ構造ニ變更ヲ生スヘキ工事ヲ施コスコトヲ得ス

本條ノ規定ニ違背シタル者ニハ別ニ定ムル處ノ違約金ヲ課スル外現狀回復ノ責ニ任セシメ場合ニ依リ直接間接ニ生シタル損害ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第八條 管理者及分水委員ハ水路ノ保全及清潔維持ノ爲メ又ハ灌漑水ノ濫費ヲ防ク爲メ水路ノ使用及水路附近ノ設備分水溝ノ構造及其ノ使用灌漑地ノ構造及灌漑ノ状態ニ關シ組合員ニ對シテ臨機必要ナル令達又戒告ヲ爲スコトヲ得

第九條 旱魃ノ爲メ普通灌漑困難ニシテ時間替シ又ハ入廻シノ方法ニ依ル必要アリト認ムルトキハ分水委員ハ遲滞ナク管理者ニ申告スルモノトス

時間替シハ從來ノ例ニ依リ宇土葉美字鹽井ノ谷ノ字界ヲ以テ上下ニ區分シ交互ニ分水ス入廻シハ最上流又ハ最下流ノ田地ヨリ順次之ヲ行フ

時間替シ入廻シノ時間及時期ハ管理者之ヲ定ム

第十條 時間替シ又ハ入廻シ中ハ分水委員、分水係及其ノ指揮スル夫役ノ外猥ニ分水口ヲ開キ灌漑ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 分水委員、庶務委員、分水係及夫役分水業務ニ關シ故意ニ令達ヲ僞リ又ハ違約行爲ニ援助ヲ與ヘ若ハ狀ヲ知リテ違約行爲ヲ默過シタル者ハ規約違背ヲ以テ律ス夫役ノ行爲不行爲ニ就テ

ハ出役義務者其ノ責ニ任ス

第十二條 違約者ノ處分又ハ第七條ノ損害高ハ常任査定委員會ニ諮リ管理者之ヲ決定ス事件簡明ナルトキハ管理者之ヲ專決スルコトヲ得

常任査定委員會ハ管理者及組合會議員ノ互選シタル四名ノ委員ヲ以テ組織シ管理者議長ト爲ル其會議ハ一般ノ議事法ニ據ル

管理者又ハ常任査定委員會ニ於テ必要アリト認ムルトキハ申告者事件本人又ハ證人ヲ喚問スルコトヲ得

第十三條 組合員ハ正當ナル理由ナクシテ管理者又ハ常任査定委員會ノ喚問ヲ拒ムコトヲ得ス  
違約行爲現認ノ爲メ發見者ヨリ立會ヲ需メラレタル場合亦同シ

第十四條 本規約第四條第六條第七條第十條第十一條第十三條ニ該當スル違背及第八條ノ令違又ハ戒告ニ從ハサル者ハ本修ニ依リ之ヲ處分ス

一、說 論

二、金參圓以上五拾圓以下ノ違約金

第十五條 規約違背ニ關シ處分通告ヲ受ケタル者指定期間内ニ義務ノ履行ヲ爲サ、ルトキハ事件ニ關係アル耕地又ハ其ノ人ニ屬スル耕地ノ一部若クハ全部ニ對シ直ニ灌漑ヲ停止シ其履行ヲ終ルマ

テ之ヲ解除セス

本條及第四條第二項ノ執行ニ就テハ場合ニ依リ監視人ヲ附シ其費用ハ被通告者ヨリ追徴スルモノトス

第十六條 本規約ニ依リ灌漑ヲ停止シタル爲メ損害ヲ生スルコトアルモ本組合ハ土地權利者ニ對シ其ノ責ヲ負フコトナシ處分ヲ受ケタルモノ其責ニ任ス

第十七條 違約處分ノ執行ハ組合會議員分水委員庶務委員其ノ任ニ當ル

第十八條 本規約ニ依リ徵收シタル金額ハ組合歳入ニ受入レ一般ノ經費ニ充ツ

第十九條 本規約ノ改廢ハ將來組合會ニ委任スルモノトス

但シ規約改廢ニ關スル決議ハ議員定員二分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第二十條 從來ノ申合規約中本規約ニ牴觸スル條項ハ本規約締結ノ日以後其ノ效力ヲ失フモノトス  
大正十四年五月十六日締結

岩戸耕地整理組合員申合規約

第一條 本組合ノ分水ノ灌漑ニ關スル事項ハ岩戸普通水利組合員ノ申合規約ヲ準用シ其執行ハ岩戸普通水利組合ノ機關ニ委任ス

大正十四年五月十六日締結

## 第六章 水株權ノ公示方法

### 第一節 開田臺帳

本組合ノ疏水使用權ガ株ニヨリテ明示セラレ、株ハ各自均一ノ權利内容ヲ有セルコトハ前述ノ如シ。

サリ乍ラ、本組合ニ於テ組合地域ハ單ニ關係一帯區域ヲ含ムモノニシテ、地域内ノ土地ニシテ株ヲ有セズシテ灌溉ヲ受クル土地アリ又地域内ノ土地ニシテ本疏水ヨリ引水セス河川ヨリ直接引入セル組合外ノ土地アリ、同一組合地域内ノ土地ニシテ適法ニ引水スルモノト然ラサルモノト混在スル有様ナリ。

本疏水ヨリ引水シ得ル權利ハ株主ニアルヲ以テ各水路掛ニ付キテ株主ノ調査ヲ必要トシ、又地勢上引水セサルヘカラサル土地ニシテ株權ヲ有セザルモノハ何等カノ處置ヲ必要トスルナリ。

此目的ノ爲ニ本組合ハ「開田臺帳」ヲ置キ組合員ノ株權ヲ登録セシム(申合規約第三條)

又、開田臺帳ニ登録濟ノ土地ニ異動ヲ生シタルトキ或ハ新タニ開田ヲ爲シタルトキモ亦之ヲ届出シム。

斯ク株ノ登記ハ普通登記所ニ於テ行ハスシテ普通水利組合ニ於テ行フモノニシテ、開田臺帳ハ之ヲ組合管理者管理ス。

臺帳ニ登録スル事項ハ次ノ如シ。

株權持分ノ表示 (株合ウ)

權利者住所氏名

登記參着順番號

持分現存額表示

異動事由

移轉登記トシテ登録スル事項ハ左ノ如シ。

登記順位番號

登記目的

登記原因日附

受附登記日附番號

登記持分表示

債權額又ハ價額



特 約  
 申請書丁數  
 住所氏名  
 臺帳ノ様式ハ次ノ如シ。

登記順位番號	登記目的	登記原日	受附登記番號	登記持分表示	債權額又ハ價額	特 約	申請書丁數	住所氏名	株權持分表示		登記參看順位番號	異動事由	權利者住所氏名		
									株	合			宮崎縣西臼杵郡	村大字	番地
		昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		錢圓			村大字	株	合			宮崎縣西臼杵郡	村大字	番地
		昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		錢圓			村大字	株	合					
		昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		錢圓			村大字	株	合					

### 第二節 權利外灌溉面積ノ處置

組合員ノ有スル權限内容ハ開田臺帳ニ依リ明示セラル、モ、實際ニ於テ各水路掛ノ灌溉狀況ガ不明ナル場合ハ各引水ニ付ソレガ權利相應ノ灌溉ナリヤ否ヤヲ確ムルコトヲ得ズ。  
 從ヒテ、「灌溉面積調」ナルモノヲ置キ、各水路筋ノ掛田ニ付調査シ、之ト開田臺帳トヲ比較シテ各引水ガ權限内ノ引水ナリヤ否ヤヲ檢ス。  
 灌溉面積調ハ組合ニ於テ行ヒ、次ノ如キ事項ヲ記載ス。

昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	村大字	番地
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	村大字	番地
錢圓	錢圓		

住所氏名  
 現在額及異動  
 大字、字、地番  
 地 目  
 反 別

枚數

摘要

調書ノ様式ハ次ノ如シ。

西白杵郡岩戸村大字岩戸

現在額及異動	大字	地字番	地目	反別	枚數	摘要

而ラバ、灌漑面積調ト開田臺帳トヲ比較シテ其處ニ制限外ノ開田面積アル場合ハ組合ハ之ヲ如何ニ處置スルヤ。

組合ハ制限反別ヲ超過シ又ハ開田臺帳ニ登録セズシテ灌漑スルコトヲ許サズ、而モ之ニ違反シテ灌

漑スル者ニ對シテハ其ノ灌漑地ノ一部若クハ全部ノ灌漑ヲ停止スルコトヲ原則トシ(申合規約第四條)其ノ調和方法トシテハ次ノ二方法ヲ採ルナリ。

一、株ノ讓渡ヲウケシムル方法

二、制限外ノ田ヲ權限ノ餘猶アル株主ノ名義ニ替ヘシムル方法

第一ノ方法ハ説明セシテ明瞭ナルモノニシテ、次章ニ述ブル讓渡ノ手續ヲ踏ミテ之ヲ行フナリ。第二ノ方法ハ正式ニ土地所有權ノ移轉ヲ行ハズシテ唯「灌漑田積調」ニ於テ當事者ノ申出ニ依リ移轉ヲ記入スルモノナリ。正式ノ所有權移轉登記ヲ行ハシムルコトニセバ、其ノ間ニ大ナル弊害ヲ生ズル虞アラシム、斯ル便法ニノミ依ラシメナバ當事者ノ道德的關係ニ信賴シ得テサシタル弊害ヲ生ゼズ。此場合ニ於テ株ノ使用料ト同様額ノ賃貸料ヲ灌漑面積調ニ於ケル土地所有名義者ガ徴收ス。

第二節 水株權ノ賃貸借

株ハ一種ノ企業權トモ見ルヘキ性質ノ權利ナルハ前述ノ如ク、株權ヲ有スルモ未ダ其ノ制限内ノ開田ノミヲ行ヒ尙其處ニ開田シ得ル權限ヲ保有スルモノアリ。一方、既ニ權限ヲ有スル開田ハ之ヲ行ヒ、其ノ保有スル株ノ權限ニテハ引水シ得ザルモノアリ。斯ル場合、權限ニ餘猶アル株權者ハ不足セルモノニ株ヲ讓渡スルコトハ勿論、之ヲ賃貸借スルコト



アリ。

此貸貸借ニハ公示方法無ク又其ノ使用料ノ決定モ當事者間ニテ定ム、凡ソノ使用料ヲ掲ゲレバ、金納ヲ一般トシ、畝當五〇錢乃至八〇錢ナリ。

株ヲ有セズシテ灌漑セラル、面積ハ今日、凡ソ五反歩餘ニシテ、其ノ關係者ハ二十數人ニ及ビ、一人當二畝歩ノモノ最モ多シ。

## 第七章 水株權ノ賣買讓渡

### 第一節 水株權ノ移轉

水株權ガ土地ヲ離レタル一種ノ財産權タル權利ナリトハ曩ニ見タルトコロナリ。

從ヒテ、之ヲ必要トセル者ニ此權利ガ移轉シ、其處ニ賣買ガ行ハレ、一定ノ價格ヲ生ジ、更ニ、其ノ權利ヲ抵當トシテ金融ノ便ヲ得ルコト勿論ナリ。

銀行ニ於テ、水田ニ附隨シテ水株權ヲ擔保ニ金融スル場合アリ。普通銀行、農工銀行共ニ金融ノ途ヲ開キ居レリ。

個人ニ於テハ、水株權ノミヲ擔保ニ水株權ノ時價ノ半分ヲ限度ニ金融シ居レリ。

賣買讓渡ハ内規ニ於テハ管理者ノ承認ヲ要スルコトトセルモ、實際ニ於テハ自由ニシテ、單ニ届出



主義ヲ以テス。唯水株權ノ移轉ノ制限トシテハ株ヲ二合五勺以下ニ細分シテ賣買讓渡ヲナスコト竝組合費滯納及夫役ノ不足アルトキニ賣買讓渡ヲナスコトヲ禁ゼルノミナリ。

尙、水株權ヲ水利組合區域外ニ賣買讓渡ヲナストキハ區域内ニ於テ直接國稅三圓以上ヲ納ムルモノヲシテ組合費及夫役ノ代辦者トシ組合管理者ニ届出ツルモノナルコトハ前述ノ如シ。

### 第二節 水株權ノ賣買形式

水株權ヲ購入セシモノハ賣渡證ヲ示シテ組合ニ株權移動申告ヲ爲スヲ要ス。

(賣渡證書式)

#### 賣 渡 之 證

一、物件ノ表示

岩戸普通水利組合株權 株

一、價 格

特 約 事 項

右賣渡證如件

組合ハ株權移動申告簿ヲ備ヘ、之ニ適當ナル事項ヲ記入シテ、開田臺帳ニ登録ス。

株權移動申告簿ノ様式ハ次ノ如シ。

氏權 利者 名住 印所	氏義 務者 名住 印所	特 約	必 要 事 項	特 約 以 外 ノ	價 格 又 ハ 債 權 額	登 記 ノ 原 因 日 附	物 件 ノ 表 示	登 記 ノ 目 的	管 理 者 村 長	助 役	昭 和 年 月 日	日 受 付	今 日 登 記
	西白杵郡岩戸村大字				金 圓	昭和 年 月 日	岩戸普通水利組合株權 株 合 勺						
郡	番地												
番地													

第三節 水株權ノ價格

現在株數ハ百十五株アリ、之ガ一株、七合五勺、五合、二合五勺ト分ケラレテ百八十四人ノ手元ニアリ。

株權ノ價格ハ一般經濟界ノ現象ト同ジク需要供給ノ原則ニ支配サレ、其ノ時々ノ關係ニ依リ一定セズ。曾テ好景氣時代ノ大正七八年頃ハ一株千二百圓ニモ賣買セラレタルコトアルモ、今日ハ五百圓乃至六百圓ニシテ、寧ロ事情ハ賣手多ク買手少キ狀況ニアリ。

普通ノ耕地賣買ニハ水株權ガ附隨セザルコトガ一般ナルコトハ前述ノ如クニシテ、從ヒテ、株權ヲ附シテ賣ル土地ノ値段ト、株權ヲ附セサル土地ノ値段ニ差異アリ。株權ヲ附セル耕地價格ハ

- 上 田 五〇〇圓(反當リ)
  - 中 田 四〇〇圓
  - 下 田 三〇〇圓
- ニシテ、株權ヲ附セサル水田ハ畑並ノ價格ナリ。畑ノ賣買價格ハ
- 上 二五〇圓(反當リ)
  - 中 二〇〇圓
  - 下 一五〇圓
- ナリ。

三、京都府乙訓郡向日町上植野ニ於ケル農業水利慣行調査

目次

一、向日町上植野地區ノ概況……………八一

二、用水路ノ概況……………八一

三、用水路敷ノ歸屬並其ノ費用支辨……………八二

四、配水基準……………八三

五、番水割……………八三

六、番水順序ノ決定……………八七

七、番水施行方法……………八九

八、堀抜井使用方法……………九一

九、番水ノ管理……………九二

十、番水割ト加入……………九三

十一、水利慣行ノ起因……………九四

十二、水利秩序ト小作争議……………九五

一、向日町上植野地區ノ概況

本地區ハ京都市ヲ去ル西南約三里、乙訓郡ノ中央ニ位シ、向日町ノ東南部ヲ占ム。東ハ同郡羽束師村菱川ニ界シ、西ハ小畑川ヲ境界トシ、北ハ同郡向日町鷄冠井、南ハ同郡新神足村ニ境ス。

本地區ノ西部一帯ハ丘陵ニシテ山林(數)多ク、東北部ハ平坦ニシテ耕地多シ。地質ハ粘質壤土ニシテ地味、肥沃、小畑川沿ヒ耕地ハ多少砂質ヲ帶ブ。

上植野區ハ總戸數一六〇戸、其ノ中農家戸數ハ一三一戸(自作戸數四五戸、自作兼小作戸數六六戸、小作戸數二〇戸)ニシテ、其ノ田面積ハ九二町(自作地ハ二割、小作地ハ八割)ナリ。

一、用水路ノ概況

上植野區ノ灌溉水ハ小畑川(註)ヨリ和井川、小井川ト稱スル水路ニ依リ導水ス。

小畑川ハ區ノ西方ニ在リ、北ヨリ南ニ貫流シ、往時ハ相當水量アリ、之ニ設ケタル堰ニ依リ灌溉セシモ水量次第ニ減シ、現今ニ於テハ夏季灌溉時ハ流水一適モ無ク(水源地方ノ山林伐採及桂川改修ニ由ルモノト思ハル)堰ニ依ル取入レハ不可能トナリシヲ以テ川底ニ伏越樋ヲ設ケ、伏流水、滲透水等ヲ

目次

一、向日町上植野地區ノ概況……………八一

二、用水路ノ概況……………八一

三、用水路敷ノ歸屬並其ノ費用支辨……………八二

四、配水基準……………八三

五、番水割……………八三

六、番水順序ノ決定……………八七

七、番水施行方法……………八九

八、堀抜井使用方法……………九一

九、番水ノ管理……………九二

十、番水割ト加入……………九三

十一、水利慣行ノ起因……………九四

十二、水利秩序ト小作爭議……………九五

一、向日町上植野地區ノ概況

本地區ハ京都市ヲ去ル西南約三里、乙訓郡ノ中央ニ位シ、向日町ノ東南部ヲ占ム。東ハ同郡羽束師村菱川ニ界シ、西ハ小畑川ヲ境界トシ、北ハ同郡向日町鶏冠井、南ハ同郡新神足村ニ境ス。

本地區ノ西部一帯ハ丘陵ニシテ山林(藪)多ク、東北部ハ平坦ニシテ耕地多シ。地質ハ粘質壤土ニシテ地味、肥沃、小畑川沿ヒ耕地ハ多少砂質ヲ帶ブ。

上植野區ハ總戸數一六〇戸、其ノ中農家戸數ハ一三一戸(自作戸數四五戸、自作兼小作戸數六六戸、小作戸數二〇戸)ニシテ、其ノ田面積ハ九二町(自作地ハ二割、小作地ハ八割)ナリ。

一、用水路ノ概況

上植野區ノ灌溉水ハ小畑川(註)ヨリ和井川、小井川ト稱スル水路ニ依リ導水ス。

小畑川ハ區ノ西方ニ在リ、北ヨリ南ニ貫流シ、往時ハ相當水量アリ、之ニ設ケタル堰ニ依リ灌溉セシモ水量次第ニ減シ、現今ニ於テハ夏季灌溉時ハ流水一適モ無ク(水源地方ノ山林伐採及桂川改修ニ由ルモノト思ハル)堰ニ依ル取入レハ不可能トナリシヲ以テ川底ニ伏越樋ヲ設ケ、伏流水、滲透水等ヲ

集メテ水源トナシ、或ハ池ヲ堀リ、堀抜井等ヲ設ケ用水ヲ補充ス。

和井、小井兩川ハ主要用水路ニシテ、小畑川ノ伏流水及左岸堤防竹林下ノ石垣ノ間ヨリノ滲透水、湧出水等ヲ集メ、西ヨリ東ニ流レ、本地區ノ七分ヲ灌溉ス。

又堀抜井ヲ水源トスル新堀川（小字伴田ニ在リ）ト稱スル水路有リ。此ハ本地區ノ二分ヲ灌溉ス。他ノ一分ハ堀抜井ニ依リ灌溉ス。

尙本地區ハ年々旱魃ニ苦シムヲ以テ堀抜井ヲ堀鑿シテ灌溉水ヲ補足スルモノ多ク其ノ數數十個所ニ及ブ。

主ナルモノハ次ノ如シ

湧水量(毎秒)

上植野字倉ノ町井戸

〇、二三一

同 大門

二、一〇四

同 定使田

〇、七二八

(註) 本地區ハ小畑川最下流ノ引水堰ニシテ、同川筋ニ於テ本地區ト關係アル堰無シ

### 三、用水路數ノ歸屬並其ノ費用支辨

小畑川ハ其ノ河川敷ハ國有ニシテ、其ノ費用ハ府費ヲ以テ支辨ス。河川法ノ準用無シ。

和井、小井兩用水路ハ區有ニシテ、其ノ費用ハ區費ヲ以テ支辨ス。新堀川モ亦同様ナリ。湧水池ハ其ノ池敷個人有ノモノ多ク、區ガ之ヲ借用シ、年坪當玄米約七合ヲ支拂フ。

### 四、配水基準

主用水源タル小畑川ニ用水アルトキハ本地區ノ灌溉ハ充分ニシテ、番水等ノ事無キモ、灌溉期ニ於テ小畑川用水不足セルトキハ直チニ本地區ノ灌溉ニ影響シ、其處ニ互救ノ分水方法ヲ生ゼリ。

小畑川ニ付キテハ本地區ハ最下流ニ於テ引水セルヲ以テ他地區トノ關係ハ無ク、地區内部ニ於ケル各用水路竝ニ補充水源ノ分水ニ付テ割當ノ基準ヲ必要トス

本地區ニ於テハ用水ノ割當ヲ田反別割ニ據ラズシテ、同區ニ居住スル農家ノ戸數ニ配當シテ配水ス。即チ番水割ヲ同區居住農家ニ附隨セシムルヲ配水基準トス。

### 五、番水割

番水割ヲ次ノ如ク分ツ。

- 一番ノ一組
- 一番組 同 二組





三番組ノ一組	五町八反八畝
同 二組	五町八反三畝
同 三組	六町
同 四組	七町三反一畝
計	二四町九反七畝
四番組ノ一組	七町三反三畝
同 二組	五町五反七畝
計	一二町九反
合計	八五町四反二畝

各組ノ灌溉面積ハ最少四町七反ノ組ヨリ最高七町三反三畝ノ組マデ在リ、各農家ノ作付反別(註)ニ付テハ最小二反歩ヨリ最大一町三反五畝ナリ。斯ク作付反別ニ差違アルモ、其ノ如何ニ拘ハラズ各農家同一率ノ配水ヲ享ク。

尙番水割ハ田所有者ニシテ、本地區ニ居住セル者ハ、實際ニ於テ耕作セザルモ其ノ割當ヲ有スルモノニシテ、斯ル地主ハ其ノ割ヲ該田ノ小作人ニ當ツルナリ。耕作セザル地主ノ數ハ十一人ナリ。  
(註) 上植野區農家一戸當耕作反別

田 六反 四畝歩 (反當收量二石八斗)  
畑 三畝歩

### 六、番水順序ノ決定

各農家ハ各番組ノソレソレノ組ニ屬セシメラレ、各番組ハ一晝夜ノ水ヲ割當テラルルコトハ上記ノ如シ。

各番組ノ順序ハ配水ヲ晝夜交代ニスル爲ニ各番組ヲ二組ツツニ分チ、其ノ組ノ組合セハ各組トモ第一組ト第四組第二組ト第三組トノ互ノ間ニ於テ交代スルノミニシテ第一組ト第二組ト交代スル如キコト無シ。

二組ツツニ分ケラレタル各番組ノ順序ハ毎年灌溉期前(五月中旬)川浚ヒスルニ際シ抽籤ニ依リ決定ス。

斯クシテ、番組ニ於テ例ヘバ二番―一番―三番―四番ノ順ガ抽籤ニ依リ決定シ、各番組ノ中ニ於テ第二組ト第四組トノコンビネーションガ先ニ番水ヲ享ケルコトニナリ。更ニ其ノコンビネーションニ於テ第四組―第二組ノ順ナル時ニハ次ノ如キ番水順序トナルナリ。

一、二番組ノ第四組

- 二、二番組ノ第二組
- 三、一番組ノ第四組
- 四、一番組ノ第二組
- 五、三番組ノ第四組
- 六、三番組ノ第二組
- 七、四番組ノ第二組
- 八、二番組ノ第三組
- 九、二番組ノ第一組
- 十、一番組ノ第三組
- 十一、一番組ノ第一組
- 十二、三番組ノ第三組
- 十三、三番組ノ第一組
- 十四、四番組ノ第一組

(昭和七年度番水割)

此順序ハ該年度中ハ變更セザルモノナリ。

當初ハ各組ノ交代ハ日ノ出、日ノ入(子ノ刻)ヲ以テ決シ居リシモ日ノ出、日ノ入等時間一定セズ又正確ニ決スルコト困難ナリシヲ以テ、先年來各組ハ六時間交替トシ、正午、午後六時、午前零時、午前六時ノ交代トセリ。各組ハ二日越、若クハ三日越ニ引水スルヲ得ルナリ。

### 七、番水施行方法

各農家ノ耕地ハ分散シ、各所ニ散在セルヲ以テ番水ハ各用水路毎ニ各組戸數ノ比ニ分水スルヲ要ス。從ツテ、番水トナレバ、本地區全用水源ヲ同一ノ割ニテ分水シ、九戸ノ組ナレバ、和井川ヲ九ニ割リ、小井川モ九ツニ割リ、新堀川モ九ツニ割ルナリ。但シ、本地區何レノ水田ヲモ灌溉シ得ル和井川ノ用水ニ付テハ問題無キモ、一定ノ水田ノミヲ灌溉シ得テ他ノ水田ニ及バザル用水源ニ於テハ、其ノ水路沿ヒニ水田ヲ有セザル組ノ者ハ其ノ引水ノ權利ヲ放棄ス(例ヘバ新堀川筋ノ灌溉面積ガ特定田ニ制限セラレ、番水ノ組ノ戸數九戸ナル場合ニ於テ其内七戸ノミ新堀川筋ニ沿ヘル水田ヲ有スル時ニ於テハ其ノ水量ハ七等分シテ引水シ他ノ二戸ハ其ノ川ノ用水ヲ他ニ流用スルヲ得ザルガ如シ)。

又、番水ハ和井、小井、新堀等ノ川筋全テヲ其ノ時間内ニ其ノ組ノ者ニノミ引用セシムルヲ以テ、組ノ或者ノ所有スル或川沿ヒノ田地ノ面積小ニシテ其ノ田ノ灌溉水ニ餘猶アル場合モ他ノ組ノ者ニ引用

セシムル事ヲ得サルナリ。

但シ組ノ者相互間ニ於テハ其ノ番ノ水ヲ如何ニ配水スルカハ自由ナリ。  
今、各用水源ノ支配スル灌溉面積ノ比ヲ示セバ凡ソ次ノ如シ。

和井川

五割

小井川

三割

新堀川

二割

備考 上河原ニ四町程「ポンプ」ニテ灌溉セル面積アリ。

次ニ、分水方法ニ付テ見ルニ、分水ハ分岐點ニ於テ用水路ヲ堰上ゲ流レテ平面ニシテ竹等ヲ以テ均分水ス。而シテ下流ヨリ漸次上流ニ及ブ。

此分水ハ水番或ハ配水人等ヲ置クコトナク、各自配水シ、配水ニ付不公平ノ處置無カラシム。

但シ、組ノ者ハ其ノ時間内ニ於テハ自由ニ自己ノ水田ニ配水シ得ルヲ以テ自作兼小作ノ農家ニ於テ自作地ニ水ヲ入レ小作地ヲ枯ラス弊害有リ。分水時間ノ報知ニハ從來ハ日ノ入日ノ出ナリシヲ以テ、信號等ヲ不要トセシモ、時計ニ依リ六時間交代トシテ分水シテ以來ハ區ノ小使ガ大鼓ヲ鳴ラシテ報知スルコトニセリ。

此處ニ注意ヲ要スルコトハ在來、日ノ出、日ノ入ニ依リテ分水セル場合ハ多少時間ニ餘猶ヲ存セシ

モ、六時間分水トセルヲ以テ時間ニ伸縮無ク、多少ノ伸縮ヲ必要トセル農業水利事情（例へバ、引水口ノ近クニ於テハ時間到來ニ依リ直チニ用水ガ絶タル、モ引水口ヨリ遠方ニアル處ニ於テハ時間到來スルモ、導水路内ノ用水存スルヲ以テ用水ノ餘猶ヲ存スルガ如キ場合有リ）ニ於テハ分水時間ニ餘猶ヲ保タシムルコトヲ要スルコトナリ。

尙、各用水路ニハ其ノ用水ヲ補充スルタメニ湧水池ノ水ヲポンプニテ揚水シ、之ヲ用水路ニ入レ、分水總量ヲ補給スルコトアリ。湧水池ヨリノ揚水ハ多ク一畝ノ池ニ二吋ノポンプニテ揚水スルヲ一般トシ、毎時公平ニ揚水スル爲ニ、一度揚水セル水ノ一割ヲ下ニ戻シ連續的ニ揚水ス。

## 八、堀抜井使用方法

各水田各自ノ行フ用水補給ハ主トシテ堀抜井ニ依リテ行フ。

堀抜井ハ田ノ一隅ニ突井戸ヲ堀リ竹筒ヲ入レテ噴水セシムルモノニシテ通常五〇―六〇間ノ深サノモノナリ。之ニハ約二百圓ノ費用ヲ要ス

堀抜井ノ堀鑿ハ自由ニシテ制限無ク、之ニ對シ區ヨリ一ヶ所二十圓ヲ補助ス

堀抜井ハ用水補給ノ目的ノ下ニ個々のニ設ケラル、モノナルヲ以テ番水ト關係無ク堀抜井ヲ堀ルモ尙番水ヲ享クルコトニ變リナシ。

## 九、番水ノ管理

上植野區長番水ノ管理者ニシテ其ノ下ニ各町一名宛選出セル七名ノ組頭アリ、此ノ機關ニヨリ維持管理ス

組頭トハ上植野區ニアル町ノ頭ニテ、伍長トモ稱シ其ノ町限リノ選舉ニヨリ選出ス。(上植野ニハ七ツノ町アリ)任期ハ一年ニシテ報酬年二圓ナリ。

番水ノ各組ニ付テハ特別ノ組長無シ。

年々ノ番水割ハ此等七名ノ組頭ガ立會ヒテ抽籤ニテ決定ス。

用水路ノ修理費用ハ凡テ區費ニ依リ支辨シ、區費ハ戶數割ト地價割ニ依リ徵收ス。年約二千圓(報酬其ノ他)ニシテ其ノ他ニ賦役アリ。

賦役ハ年二回出役シ(出役ノ際ハ區ヨリ酒二合ノ慰勞ヲナス)水田所有者、耕作者ノ負擔スルハ勿論、農家以外ノ者モ小畑川ノ用水ヲ多少飲用、雜用等ニ用ヒルヲ以テ農家ノ賦役ノ半分ヲ負擔ス(一日一圓、半日五十錢トス)

尙區費ハ不在地主モ之ヲ負擔ス。

ポンプノ運轉ハ青年會ノ人々ガ之ヲ行フモ、動力代、監理人ノ費用、油代、機械ノ維持費等ハ灌漑費

トシテ區ノ全部ノ反別割ニ取立ツ。反當八、九十錢ナリ。而シテ利害關係ヲ異ニスルポンプ動力代ノ如キモ、其ノ受益ノ如何ニ係ラズ全部共通ニ支辨ス。

## 十、番水割ト加入

番水割ハ田ト共ニ移轉セス上植野區ニ居住シ、水田ヲ所有スルカ或ハ水田ヲ耕作スル戸ニ其ノ割ヲ付スルコトナルハ上記ノ如シ。

從ヒテ、此區ヨリ居住地ヲ他ニ移セバ當然番水割ハ消滅シ、又新ニ此區ニ移住シ或ハ分家セル場合ハ新ニ番水割ヲ受クルナリ。

新ニ水口ヲ申込ム場合ハ先ヅ區長ニ申込ミ區長ハ各組中戶數最モ尠キ組ニ入ル。之ニ對シ、其ノ組ノ者ハ何等拒絶スルヲ得ス。又加入ニ對シ、加入金ヲ徵スルコトナシ。

戶數同一ニシテ面積ニ多少アル場合ハ面積ノ多少ニ不拘抽籤ヲ以テ決定シ、戶ノ多少ニ依ル原則ヲ採レリ。

從ヒテ、組ノ戶數多ク面積尠キ組ヨリ組ノ戶數少ク面積多キ組ニ加入者ヲ入ルハコトアリ。新加入者ハ農業ヲ營ム者カ、地主タルヲ要シ其ノ他制限トシテハ新規開田ニ對シテ分水セサルコトニセリ。尙、他所ノ人ガ此區ニ水田ヲ有シ、堀抜井ニヨリ灌漑スルコトハ差支ヘ無キモ、斯ル實例無ク、又

他所ノ人ノ有スル水田ニテモ、植付ノ水ノミハ之ヲ給スルコトアリ。  
 更ニ、此區ニ他區境ニ他所ノ人ノ有スル水田多少アルモ、之ハ他區ノ用水ニテ灌漑スル田ナリ。  
 此處ニ注意スベキハ或戸ニ於テ分家ヲヤル場合分家ハ本家ト同等ノ水口ヲ有スルコトニナルヲ以テ  
 分家ハ引水上有利ナルコトニナルモ、一面負擔増加スルヲ以テ弊害尠シ。  
 水利慣行ニ對スル違反ニ對シテハ何等罰則無シ。

### 十一、水利慣行ノ起源

田反別割ニ依ラズシテ同區ニ居住スル住民ノ戸數ニ配當セル用水分配方法ハ古クヨリ行ハル、モ其  
 ノ起源詳ナラス

古老ノ言ヲ徵セバ

- 一、本地區ノ水量充分ナラザルコト
  - 二、田地面積少キヲ以テ他區へ田地ヲ賣却セザル様且他所ヨリ出作ニ來ラザル様ニセシコト
  - 三、土地ノ兼併ヲ防ガントセシコト
- 等ノ理由ニ依リ斯ル慣習ヲ生セシナラン

### 十二、水利秩序ト小作爭議

用水ヲ田ニ附隨セシメズシテ農家戸數ニヨリ配水スルヲ以テ小作爭議ニ於テ地主ガ小作地ヲ返還セ  
 シムルモ、用水不足シテ水田經營ヲナスコト得ザルニ至ルヲ以テ小作側ヲシテ有利ノ地位ニ置クナ  
 リ。

四、岡山縣都窪郡八ヶ郷用水ノ農業水利慣行調査

目次

第一章	八ヶ郷用水概観	九七
一、	八ヶ郷用水取入口概況	九七
二、	八ヶ郷用水分水概況	一〇〇
第二章	八ヶ郷用水分水慣行	一〇〇
一、	八ヶ郷用水ノ創始	一〇〇
二、	「四寸樋」ニ於ケル定番分水慣行	一一二
三、	定水川分水慣行	一二二
四、	番水川分水慣行	一二三
第三章	番割及番水ノ取扱	一二三
一、	番割	一二四
二、	番水ノ取扱	一二八
第四章	番割ノ讓渡	一二九
第五章	番水ト費用負擔方法	一三一
一、	八ヶ郷用水組合	一三一
二、	八ヶ郷定水組合	一四〇
三、	八ヶ郷番水組合	一四一
四、	番水川下流用水	一五一
	以上	





# 八ヶ郷用水路圖

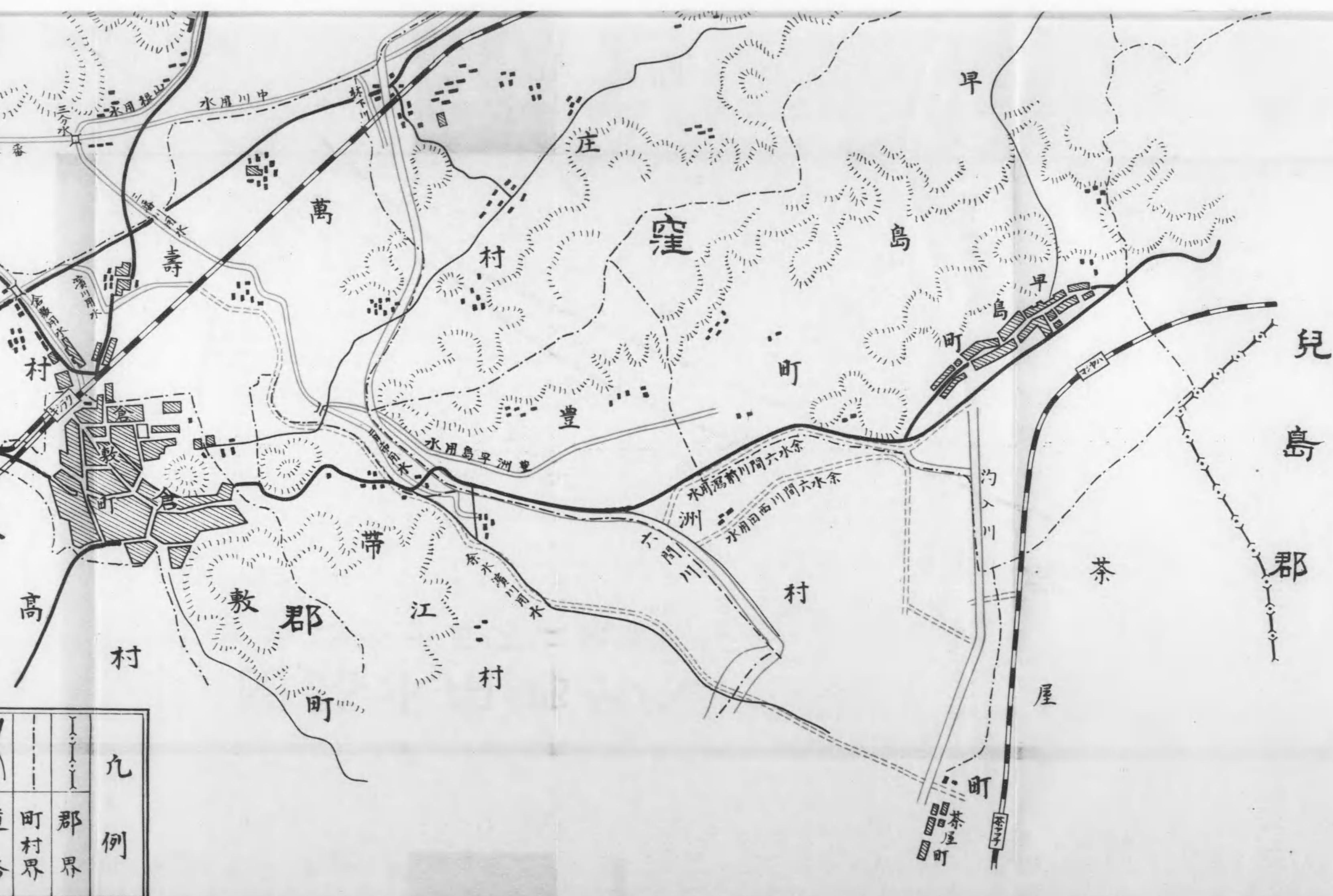
縮尺二萬五千分之一



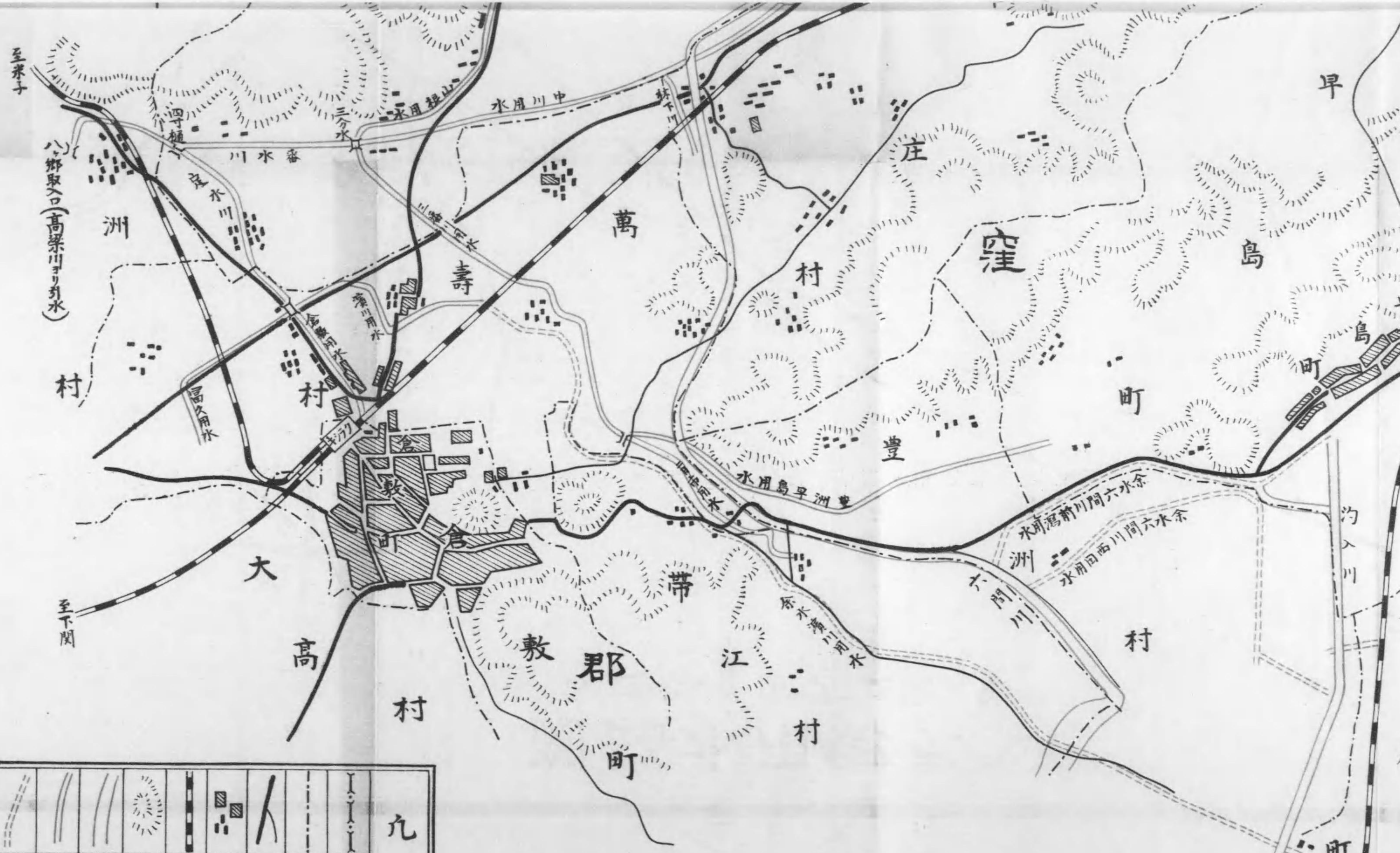
# 八ヶ郷用水路圖

縮尺二萬五千分之一





九	
郡界	例
町界	



川口										九例
樋	余水用水路	八ヶ郷用水路	六間川及潮入川	山岳	鐵道	家屋	道路	町村界	郡界	



## 第一章 八ヶ郷用水概観

### (一) 八ヶ郷用水取入口概況

八ヶ郷用水ハ岡山縣倉敷市、都窪郡菅生村、帯江村、庄村、中庄村、豊洲村、早島町、一市一町五ヶ村ノ關係耕地凡ソ二千二百三十七町四反ヲ灌溉ス

高粱川ヲ用水源トシ、都窪郡中洲村大字酒津(同川左岸)ニ樋管ヲ設ケ引水シ居リシモ、大正十三年高粱川改修ニ伴ヒ兩岸ノ各用水取入口ガ上記ノ箇所ニ於テ統一セラレシヨリハ同所配水池ヨリ配水樋門ヲ通シ引水セリ

尙本合口ハ八ヶ郷用水外十二用水ノ取入口ヲ統一セルモノニシテ一市十六ヶ町村三郡ニ亘ル六千五百八十町九反ヲ包括シ此ノ取入設備ノ維持管理ノ爲ニ高粱川東西用水組合ヲ組織ス、之ハ市町村組合ナリ

同配水池ヨリノ分水比率ハ從來ノ各用水ノ灌溉面積割ニ定メ、其ノ費用負擔モ亦反別割ナリ  
高粱川東西用水組合ノ一覽表並ニ規約、昭和八年度豫算書ハ次ノ表ノ如シ

高梁川東西用水組合一覽

(昭和四年六月)

組合設立	大正五年四月一日	明治四十年度起工ニ係ル高梁川改修ニ伴ヒ用水上ニ變革ヲ來タスヲ以テ種々ナル調査研究ヲ爲シ關係者ニ協議ヲ重ネ從テ十二ヶ所ノ取水樋管ニ分屬セシヲ合併統一シテ當組合ヲ設ク組織ハ市町村組合ナリトス
關係區域	倉敷市及都窪、淺口、兒島三郡内十六ヶ町村	貯水池排水樋管
灌溉段別	六、五八〇丁九四二〇歩九	笠井堰(取水堰堤)
引用水量	一秒時間 高水量 八五、〇〇〇立方尺 平水量 四八、〇〇〇立方尺	同放水路
高梁川流量	同(約) 平水時 二、〇〇〇立方尺 濁水時 五〇、〇〇〇立方尺	伏越樋
同當組合利用量	前項流量ハ既往ノ調査統計ヨリ計量資料トシテ得タルモノニシテ上流二ヶ所ニ假堰堤ヲ設クル用ニシテ上流二當組合ノ利用豫想量ハ濁水時二〇〇立方尺ナルモ事實信憑シ難シ	取水樋門
同上 濁水實例	大正十三年八月十九日 三五、八七立方尺 昭和二年六月廿六日(挿秧時) 四三、九立方尺	配水樋門
平水配水率	一町歩ニ對シ一秒時間 〇、〇〇〇立方尺	配水池
柿木床固水制	二ヶ所延長 三六米〇〇 幅四米〇〇	貯水池
貯水池取水管道	延長三、六七六、三六 徑 一、三六	同 蓄溜水量
西派締切堤	延長 五三六、三六 高 九、六〇	新設用水路
貯水池放水樋管	延長 三九、五四 徑 二、一二	新設工事用地
貯水池堤防	延長 二七八、一九 高一、五一	新設備利用開始
新設備工費	總額二、三八九、八八三圓〇五六 内國庫補助一、七二六、四二四圓四二六 組合負擔 六六三、四五八圓六三〇	大正十二年田用水時季ヨリ

組合負擔方法	從來用水關係其ノ他ニ因リ不均一負擔 一ヶ市町村 最高 一反歩平均 三〇、〇七
從來ノ狀況	上流ノ取水樋門ニ於テハ下流ノ狀況ヲ顧慮スルコトナク河水全部ヲ取入ルルノ特權アルモノトシ飽クマテ引水スルヲ以テ在來二、三ノ組合ニ於テハ用水稍潤澤ナリシモ下流部ニ於テハ年々濁水ヲ免レザリキ
組合ノ方針	上流ハ用水過剩、下流ハ濁水ノ狀況ヲ呈スルコト多シ故ニ之ヲ融通調和シ極端ナル濁水時ノ外全區域ニ對シ平等ニ配水シ用水ノ普及ニ努ムルコト
近況	上下流ノ合同統一ハ頗ル困難ナリシガ組合成立後ハ共同共助ノ精神ヲ鼓吹シ組合ノ方針ノ普及ニ底ニ努メ關係者何レモ其ノ主旨ヲ體シ一面新設備ノ理想的ニシテ殆ド間然スル所ナキヲ體験シ總テ圓滿ニシテ大ニ發展ノ機運ニ向ヒツツアリ
參考	平水配水率ノ決定ニ方リテハ區域廣潤ニシテ土質ニ千差萬別アリ不少杞憂ヲ抱キシカ從來ノ引用水量ヲ實測シ種々參考斟酌シテ〇、〇〇六町歩立方尺ヲ採用シ實施ノ經驗ニヨレバ全然斷水スルコトナキニ於テハ其ノ半量ニテモ取テ不足ナキモノナルコトヲ知り得タリ
	此ノ組合組織ノ協賛ハ實ニ物體雖然タリシカ成立後ハ頗ル圓滿ニシテ大正六年度以降歲計剩餘金金庫保管ヲ支辨シ分賦金ヲ徵收モザルコトナレリ

高梁川東西用水組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ高梁川東西用水組合ト稱シ組合役場ヲ當分ノ内岡山縣應内ニ置ク

但シ堰堤所在地其ノ他必要ニ應シ出張所ヲ設クルコトアルヘシ

第二條 本組合ハ高梁川改良工事ニ附帶シテ施設シタル堰堤、貯水池(取水管道其ノ他) 取水配水、樋門及配水池ノ修築、管理並必要ナル用水ノ取入、配水ニ關スル事務ヲ共同處辨スル爲之ヲ設ケ左ノ市町村ヲ以テ組織ス

倉敷市

都窪郡 中洲村 中庄村 庄村 豊洲村 茶屋町 早島町  
 帶江村 菅生村  
 淺口郡 西阿知町 連島町 船穂村 長尾町 玉島町 富田村  
 兒島郡 福田村 粒江村

第三條 本組合ハ水利上ニ關スル從來ノ關係ヲ尊重シ配水スルモノトス

第二章 組合會ノ組織權限及組合會議員ノ選舉

第四條 組合會議員ハ四十人トシ左ノ區別ニ依リ各市町村會ニ於テ其ノ市町村公民中市町村會議員ノ被選舉權ヲ有スルモノヨリ之ヲ選舉ス其ノ任期ハ四年トス

倉敷市	七人	中洲村	二人	中庄村	二人	庄村	二人	豊洲村	二人
茶屋町	二人	早島町	二人	帶江村	二人	菅生村	二人	西阿知町	二人
連島町	三人	船穂村	二人	長尾町	二人	玉島町	二人	富田村	一人
福田村	三人	粒江村	二人						

第五條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ選舉ノ期日ヲ定メ組合内市町村長ニ通知スヘシ

第六條 前條ノ通知アリタルトキハ組合内市町村長ハ市町村會ヲ開キ選舉ヲ行フヘシ

第七條 選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ市町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ當選者ノ住

所氏名生年月日ヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第八條 組合會議員中缺員ヲ生シタルトキハ其ノ市町村長ハ直ニ之ヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第九條 組合管理者前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 組合會ハ管理者故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

管理者及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ年長議員ヲ以テ議長トス

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理者及副管理者共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第十一條 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 組合條例及規約ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 二 組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スルコト
- 三 歳入出豫算ヲ定ムルコト
- 四 決算報告ヲ認定スルコト
- 五 使用料、手數料、加入金、組合費ノ分賦徴收ニ關スルコト
- 六 不動産ノ管理、處分及取得ニ關スルコト
- 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 八 基本財産及積立金穀ノ設置管理處分ニ關スルコト

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト  
十 組合ニ係ル訴訟願及和解ニ關スルコト

第三章 組合吏員ノ組織及選任

第十二條 本組合ニ左ノ吏員ヲ置ク

管理者 一名 副管理者 二名 常設委員 六名  
收入役 一名 書記 三名以内 技術員 三名以内

第十三條 本組合管理者ハ岡山縣知事ノ官職ニ在ル人ニ副管理者ハ岡山縣内務部長及岡山縣内務部  
土木課長ノ官職ニ在ル人ニ委託スルモノトス

第十四條 組合管理者ハ組合ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

組合管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スルコト
- 二 用水取入及配水ニ關スルコト
- 三 本組合關係區域内ノ分水ヲ監督スルコト
- 四 財産及營造物ヲ管理スルコト
- 五 收入支出ヲ命令シ會計ヲ監視スルコト

六 證書及公文書類ヲ保管スルコト

七 組合會ノ議決ニ依リ使用料手数料、加入金、組合費ヲ分賦徴收スルコト

八 其ノ他法令ニ依リ管理者ノ職權ニ屬スルコト

第十五條 副管理者ハ管理者ヲ補佐シ管理者故障アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十六條 常設委員ハ組合會ニ於テ組合内市町村長中ヨリ之ヲ選舉ス其ノ任期ハ本職タル市町村長  
ノ任期ニ伴フモノトス

常設委員ハ管理者ノ指揮監督ヲ受ケ用水ノ取入及配水、各分水所ノ分水ニ關スル事項並管理者ヨ  
リ特ニ指命ノ事項ヲ分掌ス

第十七條 收入役ハ會計事務ヲ掌リ書記及技術員ハ管理者ニ隸屬シ事務ヲ處理ス

第十八條 組合管理者ハ當分ノ内必要ニ應シ第十二條規定ノ外適當ナルモノニ囑託シテ庶務及技術  
上ノ事項ヲ處理セシムルコトヲ得

第四章 組合費用ノ支辨方法

第十九條 組合ニ要スル費用ハ財産ヨリ生スル收入其ノ他諸收入ヲ以テ支辨スル外灌溉段別ニ比例  
シ平等(富田村ハ十  
分ノ五トス)ニ負擔ス

第二十條 將來灌溉ヲ要スル土地ノ増加シタル場合ニハ從前當刻市町村ノ負擔シタル新設備工費ノ



負擔率ニ依リ相當ノ加入金ヲ徵收ス

第五章 附 則

第二十一條 前各條ニ規定シタルモノ、外本組合ニ適用シ得ヘキモノハ總テ市制ノ例ニ依ル

第二十二條 從前ノ組合規約及之ニ附隨スル覺書、議決書等ニシテ取水、配水及費用分擔ニ關スル

モノハ尙其ノ效力ヲ保有スルモノトス

第二十三條 從前ノ組合ニ於テ定メタル昭和三年度歲入出豫算ハ其ノ儘之ヲ踏襲シ新ニ組合會ニ於

テ之カ變更ヲ議決セサル限り有效トス

第二十四條 從前ノ組合ニ於テ定メタル分賦金、調節、積立金設置及管理規定ヲ初メ現行ノ諸規定

類ハ其ノ儘之ヲ踏襲シ新組合會ニ於テ之カ變更ヲ議決セサル限り有效トス

第二十五條 從前ノ組合常設委員ニシテ現ニ在職中ノ者ハ引續キ殘任期間在任セシムルモノトス

第二號

昭和九年度高梁川東西用水組合歲入出豫算

歲 入

一金貳萬壹千貳百六拾圓

歲 入 豫 算 高

歲 出

一金壹萬九百六拾圓  
一金壹萬參百圓

經常部 豫算 高  
臨時部 豫算 高

合計金貳萬壹千貳百六拾圓

歲入出差引殘金ナシ

昭和九年度高梁川東西用水組合歲入出豫算

科 目		種 目		附 記		
款	項	目	目	本年	前年	
入	入	入	入	算額	算額	
一、財産ヨリ	一、分賦金	一、預金利子	一、七五〇円	一、七五〇	一、七五〇	當座預金利子
一、生ズル收	一、節積立金	二、債券利子	一七、二〇〇	一八、九五〇	一、七五〇	農工債券利子一萬四千五百圓 國庫債券利子二千七百圓
		一、配水池使	三〇	一〇	二〇	三百坪分一坪當リ金拾錢
		一、貯水池占	七〇〇	七〇〇		貯水池占用料昭和九年度分
三、交付金	一、縣交付金		七〇〇	七〇〇		





臨時部計	10,300	10,300	11,300	1,000
歳出合計	21,260	21,260	21,950	690

備考 増減欄△印ハ減

昭和八年十二月廿六日

高梁川東西用水組合管理者 篠原英太郎

二、八ヶ郷用水分水概況

合口ヨリ都窪郡菅生村大字子位庄字片山(祐安) 地點ニアル定水川、番水川ノ分水樋迄ノ用水幹線

水路延長約三百四十間ヲ八ヶ郷用水ト稱ス

八ヶ郷用水組合ハ倉敷市、都窪郡菅生村、帶江村、庄村、中庄村、豊洲村、早島町、一市一町五ヶ村ヲ以テ組織セル市町村組合ナリ。

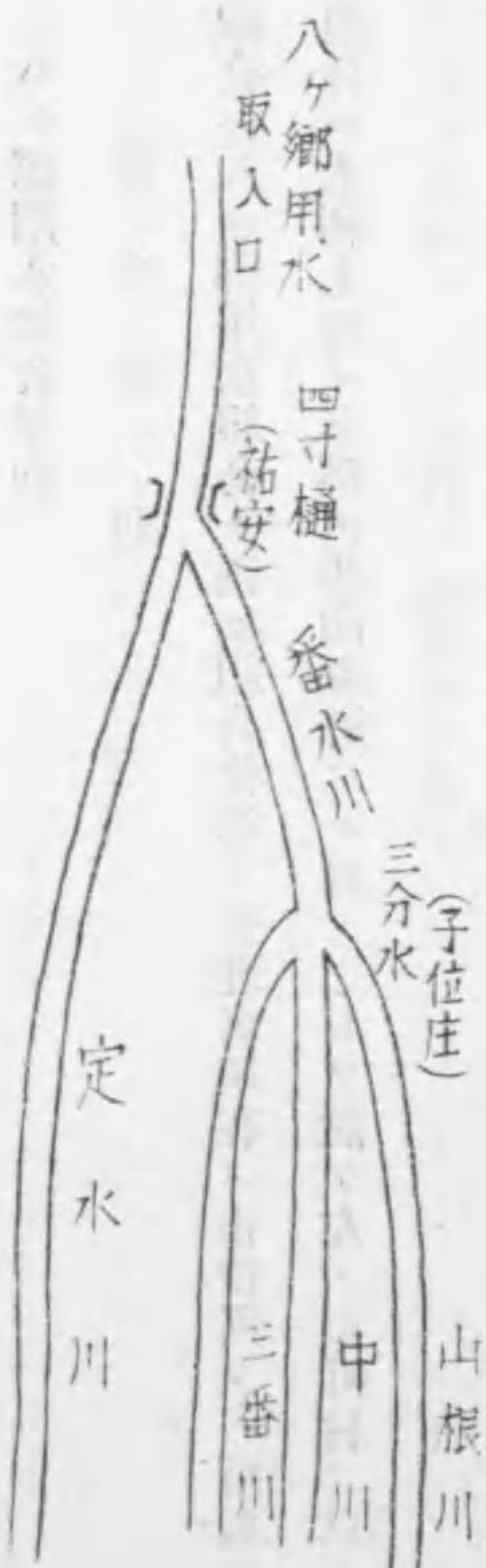
定番分水樋ヲ一名「四寸樋」ト稱シ、之ヨリ倉敷市ニ至ル延長六百九十四間ノ用水路ヲ定水川ト名付ケ灌漑面積約千町歩ニシテ舊幕領濱村之ヲ代表ス 分水樋ヨリ東ヘ菅生村大字子位庄ニアル中樋

(三分水地點)ニ至ル延長五百五十六間ノ用水路ヲ番水川ト名付ケ灌漑面積約千六百町歩ニシテ舊備前領子位庄村之ヲ代表ス

前者ハ八ヶ郷定水組合ヲ組織シ、後者ハ八ヶ郷番水組合ヲ組織ス、八ヶ郷定水組合ハ元倉敷町、萬壽村ノ二ヶ町村組合ナリシモ、兩町村倉敷市ニ統一セラレシヨリ、同組合ハ倉敷市ノ管理スルトコロナリ

八ヶ郷番水組合ハ倉敷市、都窪郡菅生村、帶江村、庄村、中庄村、豊洲村、早島町ヲ以テスル市町村組合ナリ

子位庄ノ三分水樋ヨリ山根樋ニ依ル山根川ハ菅生村ヲ灌漑シ菅生村ノ管理スル處ナリ、中樋以東延長千二百七十八間ノ中川ハ中川用水組合ノ管理スル處ニシテ庄村、中庄村、菅生村ノ町村組合ヲ組織ス、南樋ニ依ル用水ハ三番川ト稱シ、豊洲村、早島町、帶江村ノ町村組合ニヨリ管理ス 分水關係ヲ圖示セバ次ノ如シ



尚、各用水ノ町村組合ノ費用負擔方法ハ後述ノ歩方割ニ依リ賦課シ、灌漑面積割ノ賦課ニ非ズ

八ヶ郷用水組合規約並八ヶ郷番水組合規約ハ別紙ノ如シ

八ヶ郷用水組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ八ヶ郷用水組合ト稱シ組合役場ヲ管理者所在ノ市役所又ハ町村役場内ニ置ク

第二條 本組合ハ水利土功ノ事務ヲ共同處辨スル爲メ之レヲ設ケ左ノ市町村ヲ以テ組織ス

倉敷市

都窪郡 菅生村、帶江村、庄村、中庄村、豊洲村、早島町

第二章 組合會ノ組織權限及組合會議員ノ選舉

第三條 組合會議員ハ二十人トシ左ノ區別ニ依リ市町村會ニ於テ其市町村公民中市町村會議員ノ被選舉權ヲ有スルモノヨリ之レヲ選舉ス其任期ハ四年トス

倉敷市 六人 菅生村 四人 帶江村 一人 庄村 二人

中庄村 三人 豊洲村 二人 早島町 二人

第四條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ選舉ノ期日ヲ定メ之レヲ組合内ノ市町村長ニ通知スヘシ

第五條 前條ノ通知アリタルトキハ組合内市町村長ハ市町村會ヲ開キ選舉ヲ行フヘシ

第六條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ市町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ當選人ノ住所氏名生年月日ヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第七條 組合會議員中缺員ヲ生シタルトキハ其市町村ノ市町村長ハ直ニ之レヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第八條 組合管理者前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ第四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 組合會ハ組合管理者ヲ以テ其議長トシ管理者故障アルトキハ管理者所在市町村ノ助役之レヲ代理スヘシ

管理者及代理者共ニ故障スルトキハ年長者議員ヲ以テ議長トス

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理及其代理者共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第十條 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一、組合條例及規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事

二、組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事

三、歳入歳出豫算ヲ定ムルコト

四、決算報告ヲ認定スル事

五、使用料手数料加入金組合費ノ分賦徴收ニ關スル事

- 六、不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事
- 七、歳入歳出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 八、基本財産及積立金穀ノ設置管理處分ニ關スル事
- 九、財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 十、組合ニ係ル訴訟願及和解ヲ爲ス事

第三章 組合吏員ノ組織及選任

第十一條 本組合ニ左ノ吏員ヲ置ク

- 組合管理者 一人
- 収入役 一人
- 書記 一人

第十二條 組合管理者ハ組合會ニ於テ組合内各市町村長ノ中ヨリ之ヲ選舉ス其任期ハ當選者ノ本職任期間トス

但管理者故障アルトキハ管理者所在市町村ノ助役ヲ以テ代理セシム

第十三條 組合管理者ハ組合ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

組合管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一、組合會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事
- 二、財産及營造物ヲ管理スルコト

三、収入支出ヲ命令シ會計ヲ監視スルコト

四、證書及公文書類ヲ保管スルコト

五、組合會ノ議決ニ依リ使用料手数料加入金組合費ヲ分賦徴收スルコト

六、其他法令ニ依リ組合管理者ノ職權ニ屬スル事

第十四條 組合收入役及収入役代理者ハ組合管理者所在地ノ市町村收入役及収入役代理者ヲ以テ之レニ充ツ

第四章 組合費用ノ支辨方法

第十五條 組合ニ要スル費用ハ財産ヨリ生スル收入其他諸收入ヲ以テ支辨スル外左ノ區別ニ依リ負擔ス

倉敷市歩方	二分四厘六毛〇三		
菅生村歩方	二分三厘八毛一	帶江村歩方	五厘九毛五二
庄 村歩方	一分一厘九毛〇五	中庄村歩方	一分五厘八毛七三
豊洲村歩方	九厘九毛二	早島町歩方	七厘九毛三七

第五章 附 則

第十六條 前各條規定シタルモノ、外本組合ニ適用シ得ヘキモノハ總テ市制ノ例ニ依ル

第十七條 組合役場ハ第一條ノ規定ニ拘ラス昭和十年迄ハ菅生村役場内ニ置キ昭和十一年ヨリ第一條ノ規定ニ依ル

第十八條 本規約ハ許可ノ日ヨリ之レヲ施行ス

八ヶ郷香水組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ八ヶ郷香水組合ト稱シ組合役場ヲ管理所在ノ市役所又ハ町村役場内ニ置ク

第二條 本組合ハ水利土功ノ事務ヲ共同處辦スル爲メ之レヲ設ケ左ノ市町村ヲ以テ組織ス

倉敷市

都窪郡 菅生村、帶江村、庄 村、中庄村、豊洲村、早島町

第二章 組合會ノ組織權限及組合會議員ノ選舉

第三條 組合會議員ハ十六人トシ左ノ區別ニ依リ市町村會ニ於テ其市町村公民中市町村會議員ノ被選舉權ヲ有スルモノヨリ之ヲ選舉ス其任期ハ四年トス

倉敷市 三人

菅生村 四人

帶江村 一人

庄 村 二人

中庄村 三人

豊洲村 二人

早島町 一人

第四條 組合會議員ノ選舉ヲ行フトキハ組合管理者ハ選舉ノ期日ヲ定メ之ヲ組合内ノ市町村長ニ通

知スヘシ

第五條 前條ノ通知アリタルトキハ組合内市町村長ハ市町村會ヲ開キ選舉ヲ行フヘシ

第六條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ市町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ當選人ノ住所氏名生年月日ヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第七條 組合會議員中缺員ヲ生シタルトキハ其市町村ノ市町村長ハ直ニ之レヲ組合管理者ニ報告スヘシ

第八條 組合管理者前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ第四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 組合會ハ組合管理者ヲ以テ其議長トス管理者故障アルトキハ管理者所在市町村ノ助役之レヲ代理スヘシ

管理者及代理者共ニ故障アルトキハ年長者議員ヲ以テ議長トス

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理者及其代理者共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第十條 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一、組合條例及規約ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二、組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事
- 三、歳入歳出豫算ヲ定ムル事

- 四、決算報告ヲ認定スル事
- 五、使用料手数料加入金組合費ノ分賦徴收ニ關スル事
- 六、不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事
- 七、歳入歳出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 八、基本財産及積立金穀ノ設置管理處分ニ關スル事
- 九、財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 十、組合ニ係ル訴訟訴願及和解ヲ爲ス事

第三章 組合吏員ノ組織及選任

第十一條 本組合ニ左ノ吏員ヲ置ク

組合管理者 一人 収入役 一人 書記 一人

第十二條 組合管理者ハ組合會ニ於テ組合内各市町村長ノ中ヨリ之ヲ選舉ス其任期ハ當選者ノ本職任期間トス

但シ管理者故障アルトキハ管理者所在市町村助役ヲ以テ之ヲ代理セシム

第十三條 組合管理者ハ組合ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

組合管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一、組合會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事
  - 二、財産及營造物ヲ管理スル事
  - 三、収入支出ヲ命令シ會計ヲ監視スル事
  - 四、證書及公文書類ヲ保管スルコト
  - 五、組合會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金組合費ヲ分賦徴收スル事
  - 六、其他法令ニ依リ組合管理者ノ職權ニ屬スル事
- 第十四條 組合収入役及収入役代理者ハ組合管理者所在地ノ市町村収入役及収入役代理者ヲ以テ之レニ充ツ

第四章 組合費用ノ支辨方法

第十五條 組合ニ要スル費用ハ財産ヨリ生スル收入其他諸收入ヲ以テ支辨スル外左ノ區別ニ依リ負擔ス

倉敷市歩方	一分	帶江村歩方	七厘五毛
菅生村歩方	三分	中庄村歩方	二分
庄 村歩方	一分五厘	早島町歩方	一分
豊洲村歩方	一分二厘五毛		



第五章 附 則

第十六條 前各條規定シタルモノ、外本組合ニ適用シ得ヘキモノハ總テ市制ノ例ニ依ル

第十七條 組合役場ハ第一條ノ規定ニ拘ラス昭和十年迄ハ菅生村役場内ニ置キ昭和十一年ヨリ第一條ノ規定ニ依ル

第十八條 本規約ハ許可ノ日ヨリ之レヲ施行ス

第二章 分 水 慣 行

一、八ヶ郷用水ノ創始

八ヶ郷用水ノ創始ヲ溫ヌルニ今ヲ去ル約四百數十年前明應年間ニ現在定水川下流ニアル濱村ハ其ノ耕地ヲ灌溉スヘク高梁川左岸ニ樋ヲ設ケテ引水シタルヲ高梁川下流部取入ノ創始トス之ヲ一ノ口樋管ト稱ス

下ツテ天正十二年（明應ヨリ凡ソ七、八十年ノ後）備前岡山ノ城主宇喜多秀家意ヲ開墾ニ用ヒ臣岡豊前守ヲシテ開墾地ニ對スル用水計畫ヲ立テシメタル處其ノ用水源ヲ高梁川ニ求メ一ノ口樋管ヨリノ引水ヲ適切ト認メタリ、依ツテ濱村ヘ對シテハ、用水ヲ不斷日時給水スル優越ナル水利ヲ持續セシムルコトヲ約シ濱村ノ承諾ヲ得テ、樋管竝ニ用水路ヲ共同使用スルコトニシ、其ノ計畫ヲ遂行セリ、之

ヲ八ヶ郷用水ノ創始トス。

八ヶ郷ノ開始前ヨリ用水ヲ繼續使用スル者ハ「定水」ニシテ、天正年間宇喜多氏ノ開墾地ニ始メテ使用セル用水ガ「番水」ナリ、濱村ヘ對シテ用水ヲ不斷日時給水スル優越ナル水利ヲ持續セシムル所以ヲ以テ「定水」ト名付ケタリ。

八ヶ郷始覺書ハ左記ノ如シ

一、酒津井手川初リ備中河切ニ備前様御知行ニ付天正十二年きのへさる大ヒデリニテ八月朔日岡豊前守様宮内西へ御出被板倉ノ橋下ヨリたゝゐノ井手水山南郡へ水筋井手ヲ付可被下ト水御モラセ被成候得者東ノ庄村ノ北ヨリもすがはなマデー丈餘西高ク御座候右たゝゐノ水不能成ト被仰庭瀬ニ御歸被成同九月九日ニ山北たゝゐへ御座被成河筋御モクロミ被成酒津古城へ御座被成晝辨當城山ニテ上リソレニテ水筋御モクロミ被成其日ハ濱村四郎三郎ノ所ニ御逗留被下同十日ニ千原九郎右衛門被仰付井手筋ホウシ御立被成請樋ニ依リ兩井手筋ホウシ御立被成候テ霜月十六日ニ高下水御モラセ明酉ノ正月五日ニ鎌初被成三月二日ニ樋迄相調申候其後水御通被成御覽ノ時六寸上候得者上へ水上リ不申候ニ付又三寸ニ被成候テ御座候得バ下スタナク候ニ付 四寸ニ被成水半分ノ定リニテ御座候 其時樋守ハ濱村四郎三郎へ仕へト被仰付候

（天正十二年八月八日）

二、「四寸樋」ニ於ケル定番分水慣行

前述ノ如ク此樋管ハ天正十三年宇喜多氏ニ於テ其ノ領地ニ給水スル爲メ高梁川ノ左岸ニ取入設備ヲ爲スニ當リ從前ヨリ濱村ニ使用スル用水路ヲ共用スルニ設置シタル分水樋管ナリ

四寸樋ハ定水番水ノ分水ヲ等分ニ分ツタメノ樋ニシテ定水ハ地勢上番水ヨリ高地ナルヲ以テ樋ヲ四寸上グルコトニヨリ等分水トナリシ由來ニヨリ四寸樋ト名付ケタリ即チ番水ニ對スル制水ノ設備ナリ

本樋ハ長三間半 横三尺五寸 高二尺五寸 板ノ厚サ四寸ノ定メナリ

此ノ据付費用ハ濱村ノ村持ニシテ据替ノ節ハ定水番水關係者立會ノ上ニナスコトニナレリ之レ下流側ノ心配無ク元々通り修理セシムル一方法ナラン

文化三年六月ノ八ヶ郷坑樋並井組古形共奉書ノ古記録ヲ示セバ左ノ如シ

一、分水樋壹艘 長 三間半 横 三尺五寸

高 二尺五寸 但 六尺間

右分水樋ハ定水川番水川其外村々へハ入用一切掛ケ不申濱村ヨリ据候古形ニ御座候

但樋伏替ノ節ハ定水番水共井組村々一同立會見届候上先觀ノ通り濱村ヨリ据替申候

三、定水川分水慣行

定水濱川ノ幹流ハ舊濱村用水ノ單獨取入ニ依リ堀鑿シタルモノニシテ八ヶ郷用水創始ノ時ニ既ニ優先

的覺書ヲ取替シ定水ノ名ノ出デタルトコロナリ故ニ水源高梁川ノ取入樋管以下舊大島村界ノ流末ニ至ル迄水路中ニ水流ノ遮斷開閉ノ設備ナキヲ特徴トス

四、番水川分水慣行

番水川ハ菅生村祐安ノ定番分水樋以東ノ用水路ニシテ、同村子位庄ニアル樋管ニヨリ三分水ス、分水樋ハ山根樋、中樋、南樋ノ三樋ニヨリ山根川、中川、三番川ニ分レ、番割ニ分水メ山根川ニハ「一番半」ノ用水ヲ通流スル設備ニシテ中川ハ「四番半」ノ用水ヲ三番川ハ「三番半」ノ用水ヲ通流スル設備ナリ、但シ何レノ用水モ地元子位庄ニハ計一番ノ用水ヲ分水スルコトニナレリ

番割及番水ノ取扱ニ付テハ次章ニ述ブル如クナルモ、樋ノ取扱ニ付テ記セバ次ノ如シ

中樋ノ据込ハ早島町外三番川關係ノ負擔ニシテ中樋關係ノ立會ノ下ニ行ヒ、南樋ハ中川及山根川ノ水掛リ村々ノ据込ニシテ三番川關係村々ノ立合ヒ、山根樋ハ菅生村西坂ノ据込ニシテ自分持ナリ

中 樋ハ 長サ二間一尺 内法 横 三尺 高 三尺四寸

南 樋ハ 長サ二間 同 四尺方 但 二戸前

山根樋ハ 長サ二間 同 三尺方

第三章 番割及番水ノ取扱

一、番割

番水ノ一ト番ト稱スルハ番水川ノ全水量ヲ一晝夜ニ取入スルヲ云フ  
此ノ標準ニ付テハ確タル根據無キモ古田ノ灌溉反別ニ割當タルモノナランカ。  
番水ハ十晝夜半ニシテ十番半トナル。

文政五年以前ノ番水割ヲ示セバ次ノ如シ

内譯	五分	平田
壹番	西ノ庄	二分五厘 大島
壹番	子位庄	二分五厘 福島
壹番半	東阿知	七分五厘 生坂
半番	五日市	七分五厘 西坂
壹番	中帯江、二日市	五分 中帯江
壹番	早島	五分 二日市

文政五年以後ニ於テ互ニ讓渡アリシヲ以テ現今ノ番水ハ左ノ如シ

壹番	三田	二分二厘二毛	別府
半番	二子	三分三厘三毛	中田
壹番	中之庄	一分一厘一毛	吉田
壹番	鳥羽、徳芳	三分三厘四毛	中島及辻
壹番	松島	五分	鳥羽
合計	拾番半	五分	徳芳
壹番	西ノ庄		
壹番	子位庄		
壹番半	東阿知		
半番	三田		

半番	二子
半番二分五厘	二日市
半番二分五厘	五日市
半番	中帶江
壹番	早島
壹番	中ノ庄
半番	鳥羽
半番	徳芳
壹番	松島
合計	十番半
之ヲ用水別ニ記セバ次ノ如シ	
中川	半番
壹番	平田
壹番	中ノ庄
壹番	鮮羽、徳芳
半番	二子

半番	三田
壹番	松島
計	四番半
山根川	
半番二分五厘	生坂
半番二分五厘	西坂
(半番)	子位坂
計	二番
三番川	
半番二分五厘	二日市
半番二分五厘	五日市
半番	中帶江
壹番	早島
半番	西ノ庄
(半番)	子位庄
計	四番
合計	十番半

二、番水ノ取扱

番水ハ之ヲ分水スルモノニ在ラズシテ、順次ニ全水量ヲ取入ル、モノナリ、其順位ハ舊慣ニ依リ澤所地區内ノ最遠地ヲ初メトシ、順次其ノ終番ニ至ル一回ヲ二週間ノ延時間數ニ割當テ、早島ヲ終番トシ、第二回ハ早島ヲ始メトシ、逆順ニ澤所地内ノ最遠地ニ終了スルモノナリ  
始期ハ夏至一週間前約六月十五日ヲ以テス。  
昭和八年ノ根付用水配水日割ハ別紙ノ如シ。

組庶第二一號

昭和八年六月十日

八ヶ郷番水組合管理者  
都窪郡菅生村長 山内正  
殿

根付用水配日割ノ件

本年根付用水左記ノ通り相定メ候條御了知相成度此段及通知候也

左記

六月 十七日朝ヨリ 十八日夜中 松島 徳芳

同	十九日朝ヨリ 二十日夜中	中庄	鳥羽
同	二十一日朝ヨリ 二十二日夜中	三田	二子
同	二十三日朝ヨリ 二十四日晝中	東阿知	
同	二十五日夜中 二十六日朝ヨリ	子位庄	
同	二十七日晝中 二十八日晝中	西ノ庄	
同	二十九日夜中 三十日朝ヨリ	五日市	
同	三十一日晝中	二日市	
同	七月一日晝中	早島	

第四章 番割ノ讓渡

番割ニ就テハ上述ノ如ク文政五年以前ノ割當ト以後ノ割當トニ於テ變化セリ、即チ或用水ノ關係耕地増加シ所要水量ノ増大ヲ必要トスルモノヲ生ジタルトキ自己所持ノ番ノ水ニテ充分ナルモノヨリ水ヲ讓受クル場合アリ  
例ヘバ平素用水ニ不足ヲ感ズル早島及帶江ニ於テハ文政五年六月關係村々ノ同意ヲ得テ帶江村ハ二

子村ヨリ早島村ハ鳥羽德芳兩村ノ番水一ト番ノ内半番ノ水量ヲ讓受ケ南樋ヨリ三番川ヘ取水セリ。  
讓渡ニ付テハ用水費負擔ノ外讓水村々ノ用水不足ヲ下庄村ヨリ補充スル爲メ其ノ費用ノ引當トシテ  
帶江早島ヨリ毎年銀二百匁出銀セリ  
本用水ニ於ケル番水割ノ讓渡ハ村對村ニ於テ行ハレタルモノニシテ個人間ニ於ケル讓渡ニアラズ。  
而シテ此ノ讓渡ハ今日最早行ハレズ番水讓渡契約書次ノ如シ。

一、帶江早島從來用水不足ノ村々ニテ難儀有之旨厚ク頼ニ付勘辨ヲ以テ今般惣方熟談ノ上讓水出來  
取計方ハ鳥羽村德芳村二子村用水根付番水ハ是迄ノ通り右村々ヘ引取り根付及本番割ノ分不殘帶江  
早島ヘ相讓リ可申候、跡用水相減シ候時ハ、下庄村用水讓合一體平均ノ積リ時々申談シ取計可成丈  
帶江早島ヘ讓水致シ取變候様取計可申候 尤格別ノ早魃ニテ元水減シ漸ク番水元村用水水車ヲ以テ  
可致取續相成候節ハ讓水相付可申候 其節帶江早島ヨリ斷リ間敷儀決而申間敷候 勿論後年ニ至リ  
自然土地柄替リ讓方村々用水差支實ニ讓水取計難及節ハ無餘儀差支始末讓方村々ヨリ貰受村々ヘ篤  
ト申談ノ上永讓水相止可申候儀モ可有之候全體帶江早島ハ用水不足難儀ノ村々ニ付實意ヲ以テ讓水  
熟談致候儀ニ候間若シ番水元村々右様差支有之讓水相止メ候共元村々ヘ對シ帶江早島ヨリ差繼間敷  
儀決而申立間敷候讓方村々ニテモ不實意取計致間敷候且ツ議定面ノ儀ニ付向後差支出來及談候節入  
用ハ囉請方ヘ相構可申候尤モ相互ニ心ヲ付ケ取締可申候此段申談候

一、鳥羽村芳德村二子村番水井組入用割賦目錄通り内步當午歲ヨリ年々帶江早島ヨリ出銀可致勿論  
臨時普請等有之其時々御料村々ヘ引分ケ取計割賦目錄外ニ相成候入用有之候共都テ八ヶ郷川筋ニ付  
諸入用ノ儀ハ讓方村々囉請村々立會右步當ヲ以テ帶江早島ヨリ出銀鳥羽村德芳村二子村ヘ相渡シ可  
申候事

一、銀 貳百目

右者下庄村用水掛引取計見込入用トシテ當午歲ヨリ年々帶江早島ヨリ差出シ鳥羽村德芳村ヘ請取シ  
下庄村ヘ相渡シ可申候事

壬年六月

各村庄屋、年寄連名

### 第五章 番水ノ費用負擔方法

一、八ヶ郷用水組合

八ヶ郷用水ノ入費ハ各村々ニ一定率ヲ割當テ割賦セリ、即チ全體ヲ十二ニ割當テ定水負擔分二割、  
番水負擔分十割ナリ。番水ハ自己負擔分ヲ更ニ拾半割ニ割當ツ。

舊藩時代ニ於ケル八ヶ郷入費割賦目錄（八木嘉傳次氏所藏）ノ記錄ヲ參考ニ示セバ次ノ如シ

一、銀 六貫九百六十六匁八分八厘 八ヶ郷ノ分

此分十二割 一割ニ付五百八十匁五分七厘三二

内

一貫六十一匁一分五厘 定水分二割出銀

五貫八百五匁七分三厘 番水分十割出銀

現在ノ八ヶ郷用水組合各市町村負擔歩合ハ關係地區ノ從來ノ比率ヲ其儘ニ踏襲セルモノニシテ、各市町村ノ負擔歩合ハ次ノ如シ（八ヶ郷用水組合同約第十五條參照）

- 倉敷市 二分四厘六毛〇三
- 菅生村 二分三厘八毛一
- 庄村 一分一厘九毛〇五
- 豊洲村 九厘九毛二〇
- 帶江村 五厘九毛五二
- 中庄村 一分五厘八毛七三
- 早島町 七厘九毛三七

昭和八年度八ヶ郷用水組合豫算書ハ別紙ノ如シ

第一號

昭和八年度八ヶ郷用水組合歳入歳出豫算

歳入

一金壹千百貳拾壹圓 歳入 歳入豫算高

一金壹千百貳拾壹圓 歳出 歳出豫算高

歳入歳出差引殘金ナシ

昭和八年度八ヶ郷用水組合歳入歳出豫算

科 目	種 目	豫 算		増 減	附 記
		本 年 度	前 年 度		
一、財産収入	一、基本財産収入	二九〇・〇〇	二七〇・〇〇	二〇・〇〇	
		二九〇・〇〇	二七〇・〇〇	二〇・〇〇	
	一、預金利息	一七〇・〇〇	二七〇・〇〇	一〇〇・〇〇	預金利息
		一七〇・〇〇	二七〇・〇〇	一〇〇・〇〇	

歲入合計	三、帶江村分賦額		四、庄分賦額		五、中注村分賦額		六、豐洲村分賦額		七、早島町分賢額	
	一、一二一〇〇	二六七八	五二五七	七一四三	四四六四	七一四三	四四六四	三五七二	一、一二一〇〇	
	一、步方割	二六七八	一、步方割	七一四三	一、步方割	七一四三	一、步方割	三五七二	一、步方割	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	
	一、一二一〇〇	二〇八三	五三・五七	四一・六七	四四・六四	五五・五五	四四・六四	二七・七八	△ 一二・〇〇	

二、繰越金		三、雜收入		四、分賦額		一、貸家料	
一、前年度繰越金	二、前年度繰越金	一、雜入	二、雜入	一、倉敷市分賦額	二、菅生村分賦額	一、貸家料	二、貸家料
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇
三六一・〇〇	三六一・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一一〇・七一	一〇七・一五	一〇七・一五	一二〇・〇〇



歲出

經常部

科目	項目	豫算		種目	豫算		增減	說明
		本年	前年		本年	前年		
一、會議費	一、費用辨	一七四・〇〇	一四六・〇〇	一、費用辨	一五六・〇〇	一五六・〇〇	二八・〇〇	議員二十一人一日三十 延六十分金七十八圓 馬賃六十一圓〇鐵道賃三 〇臨時出納檢査立會人三 〇一人一日一圓三十錢延六 分七圓八十錢〇車馬賃六圓
	二、給料	三・〇〇	三・〇〇	二、給料	三・〇〇	三・〇〇	〇	書記一人一日九十錢三分
	三、雜給	二・〇〇	二・〇〇	三、雜給	二・〇〇	二・〇〇	〇	使丁四日分一人一日四十五
	四、需用費	一三・〇〇	一三・〇〇	四、需用費	一三・〇〇	一三・〇〇	〇	議案其他印刷費
二、組場費合	一、報酬	七六・〇〇	七六・〇〇	一、報酬	七六・〇〇	七六・〇〇	〇	組合管理者報酬年額
	二、給料	三六・〇〇	三六・〇〇	二、給料	三六・〇〇	三六・〇〇	〇	組合管理者代理報酬年額
	三、雜給	四四・〇〇	四四・〇〇	三、雜給	四四・〇〇	四四・〇〇	〇	同組合管理者二十一圓六十錢 代理者二圓四十錢
	一、費用辨	二四・〇〇	二四・〇〇	一、費用辨	二四・〇〇	二四・〇〇	〇	月俸一圓五十錢一人十二ヶ 月分 月俸一圓三十五錢一人十二 ヶ月分
	二、書記給	一七・〇〇	一七・〇〇	二、書記給	一七・〇〇	一七・〇〇	〇	〇
	一、收入役	一九・〇〇	一九・〇〇	一、收入役	一九・〇〇	一九・〇〇	〇	〇
	二、代理報者	一六・〇〇	一六・〇〇	二、代理報者	一六・〇〇	一六・〇〇	〇	〇
	一、管理報者	六〇・〇〇	六〇・〇〇	一、管理報者	六〇・〇〇	六〇・〇〇	〇	〇
	二、印刷費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	二、印刷費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	〇	〇
	一、消耗品	三・〇〇	三・〇〇	一、消耗品	三・〇〇	三・〇〇	〇	〇
	一、使丁給	二・〇〇	二・〇〇	一、使丁給	二・〇〇	二・〇〇	〇	〇

科目	項目	豫算		種目	豫算		增減	說明
		本年	前年		本年	前年		
一、會議費	一、費用辨	一七四・〇〇	一四六・〇〇	一、費用辨	一五六・〇〇	一五六・〇〇	二八・〇〇	議員二十一人一日三十 延六十分金七十八圓 馬賃六十一圓〇鐵道賃三 〇臨時出納檢査立會人三 〇一人一日一圓三十錢延六 分七圓八十錢〇車馬賃六圓
	二、給料	三・〇〇	三・〇〇	二、給料	三・〇〇	三・〇〇	〇	書記一人一日九十錢三分
	三、雜給	二・〇〇	二・〇〇	三、雜給	二・〇〇	二・〇〇	〇	使丁四日分一人一日四十五
	四、需用費	一三・〇〇	一三・〇〇	四、需用費	一三・〇〇	一三・〇〇	〇	議案其他印刷費
二、組場費合	一、報酬	七六・〇〇	七六・〇〇	一、報酬	七六・〇〇	七六・〇〇	〇	組合管理者報酬年額
	二、給料	三六・〇〇	三六・〇〇	二、給料	三六・〇〇	三六・〇〇	〇	組合管理者代理報酬年額
	三、雜給	四四・〇〇	四四・〇〇	三、雜給	四四・〇〇	四四・〇〇	〇	同組合管理者二十一圓六十錢 代理者二圓四十錢
	一、費用辨	二四・〇〇	二四・〇〇	一、費用辨	二四・〇〇	二四・〇〇	〇	月俸一圓五十錢一人十二ヶ 月分 月俸一圓三十五錢一人十二 ヶ月分
	二、書記給	一七・〇〇	一七・〇〇	二、書記給	一七・〇〇	一七・〇〇	〇	〇
	一、收入役	一九・〇〇	一九・〇〇	一、收入役	一九・〇〇	一九・〇〇	〇	〇
	二、代理報者	一六・〇〇	一六・〇〇	二、代理報者	一六・〇〇	一六・〇〇	〇	〇
	一、管理報者	六〇・〇〇	六〇・〇〇	一、管理報者	六〇・〇〇	六〇・〇〇	〇	〇
	二、印刷費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	二、印刷費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	〇	〇
	一、消耗品	三・〇〇	三・〇〇	一、消耗品	三・〇〇	三・〇〇	〇	〇
	一、使丁給	二・〇〇	二・〇〇	一、使丁給	二・〇〇	二・〇〇	〇	〇



歳出合計	五、諸 及負擔税		六、豫備費		一、分賦金		一、基本財 産造成		基本財産ヨリ生 スル収入編 入金
	一、豫備費	五五・〇〇	一、分賦金	〇	一、分賦金	〇	一、豫備費	五五・〇〇	
昭和八年一月十三日	一、一二一・〇〇								
八ヶ郷用水組合管理者 菅生村長 山 内 正	一、一二一・〇〇	五五・〇〇	一、分賦金	〇	一、分賦金	〇	一、豫備費	五五・〇〇	二九〇・〇〇
	一、一三三・〇〇	五五・〇〇	七・〇〇	七・〇〇	七・〇〇	七・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	二七〇・〇〇
	△ 一二一・〇〇	〇	△ 七・〇〇	△ 七・〇〇	△ 七・〇〇	△ 七・〇〇	〇	〇	二〇・〇〇
		豫算外ノ費用又豫算超過ノ 費途ニ充ツ							

二、八ヶ郷定水組合

八ヶ郷定水組合ハ從來舊倉敷町及舊万壽村ノ二町村組合ナリシモ、今日兩町村合併シテ倉敷市トナ  
リシヨリ市ノ管理スル處ナリサリ乍ラ、經費ノ負擔ハ依然濱三分七厘五毛、富久 二分五厘、倉敷  
三分七厘五毛ナリ

三、八ヶ郷番水組合

番水組合ノ經費ハ「歩方割」ニシテ全體ヲ十分五厘トナシ、其ノ村々ノ分擔ハ舊來ノ持分ニ割賦セ  
リ

各村ノ割當ハ次ノ如シ（番水組合同約第十五條参照）

- 倉敷市 一分
  - 庄 一分五厘
  - 豊洲村 一分二厘五毛
  - 帶江村 七厘五毛
  - 中庄村 二分
  - 早島町 一分
- 尙舊藩時代ニ於ケル村別歩方割ヲ示セバ次ノ如シ
- 鳥羽村、徳芳村、一番













五、長野縣上水内郡鳥居川筋用水権ニ關スル調査

早島 五分

二日市 五分

...

以上

[1] 鳥居川筋用水権ノ調査ノ結果ニ於テハ...

五、長野縣上水内郡鳥居川筋用水權ニ關スル調査

早島  
五分

以上

一五二

目次

第一章 鳥居川筋分水概況	一五三
第一節 鳥居川ノ概況	一五三
第二節 用水權ノ概況	一五四
第三節 鳥居川筋ノ分水慣行	一五八
第二章 各用水堰ノ配水慣行	一五九
第一節 上流堰ノ配水慣行	一六〇
第二節 中流堰ノ配水慣行	一六二
第三節 下流堰ノ配水慣行	一六四
第三章 用水權ノ内容	一六六
第一節 用水權ノ範圍	一六六
第二節 用水權ノ内容並效果	一六七
第四章 用水權ノ主體	一七一
第一節 主體ヲ決定スベキ標準	一七一
第二節 用水權ト用水路敷トノ關係	一七二
第三節 用水權ト耕地トノ關係	一七三
第四節 用水權ト費用負擔トノ關係	一七四
第五節 用水權ノ確認	一七五
第六節 用水權ノ主體	一七七

第一章 鳥居川筋分水概説

第一節 鳥居川ノ概況

鳥居川ハ日本アルプス連峰黒姫、戸隠、飯繩ノ三高山（何レモ海拔二千米突内外）ニ源ヲ發シ、東流シテ柏原驛附近ニ到リ、之ヨリ東南ニ飯繩山麓ヲ廻リテ流下シ上水内郡神郷村ノ村界ニ於テ千曲川ヲ注グ。上流部ハ兩岸ノ山高ク溪谷ヲナシ、勾配急ニシテ約五十分ノ一ナルモ、山林ニシテ針濶混浴林ヲナシ、水源ハ良好ナリ。上流富士里村平岡附近ヨリハ山嶽漸ク低ク水田多クナリ、田用水取入多トナリ耕地ヲ潤ス。流域ハ狹長ニシテ全流域面積十方里餘（内譯本流六、六方里、支流三、七方里）流程七里ナリ。

支流トシテハ見ル可キモノ無キモ、右岸富士里村ニ存スル溪流及高岡村ニ發シ中郷村ヲ通シテ牟禮附近ニ於テ本流ニ合流セル湫流ヲ主タルモノトス。

灌溉期間ニ於ケル流量ニ付テハ從來測定シタル記録ナク、從ヒテ全川ニ亘リテ其ノ流量ヲ知ル材料ナキモ、最近五ケ年間ニ於ケル鳥居川上流信電第一發電所取入口實測ニ依レバ別表ノ如シ。

測 水 所 上水内郡柏原村字黒姫山信電第一發電所取入口

流 域 面 積 三・二方里

目次

第一章 鳥居川筋分水概況……………一五三

  第一節 鳥居川ノ概況……………一五三

  第二節 用水權ノ概況……………一五四

  第三節 鳥居川筋ノ分水慣行……………一五八

第二章 各用水堰ノ配水慣行……………一五九

  第一節 上流堰ノ配水慣行……………一六〇

  第二節 中流堰ノ配水慣行……………一六二

  第三節 下流堰ノ配水慣行……………一六四

第三章 用水權ノ内容……………一六六

  第一節 用水權ノ範圍……………一六六

  第二節 用水權ノ内容並效果……………一六七

第四章 用水權ノ主體……………一七一

  第一節 主體ヲ決定スベキ標準……………一七一

  第二節 用水權ト水路敷トノ關係……………一七二

  第三節 用水權ト耕地トノ關係……………一七三

  第四節 用水權ト費用負擔トノ關係……………一七四

  第五節 用水權ノ確認……………一七五

  第六節 用水權ノ主體……………一七七

第一章 鳥居川筋分水概説

第一節 鳥居川ノ概況

鳥居川ハ日本アルプス連峰黒姫、戸隠、飯繩ノ三高山（何レモ海拔二千米突内外）ニ源ヲ發シ、東流シテ柏原驛附近ニ到リ、之ヨリ東南ニ飯繩山麓ヲ廻リテ流下シ上水内郡神郷村ノ村界ニ於テ千曲川ヲ注グ。上流部ハ兩岸ノ山高ク溪谷ヲナシ、勾配急ニシテ約五十分ノ一ナルモ、山林ニシテ針潤混淆林ヲナシ、水源ハ良好ナリ。上流富士里村平岡附近ヨリハ山嶽漸ク低ク水田多クナリ、田用水取入多トナリ耕地ヲ潤ス。流域ハ狹長ニシテ全流域面積十方里餘（内譯本流六、六方里、支流三、七方里）流程七里ナリ。

支流トシテハ見ル可キモノ無キモ、右岸富士里村ニ存スル溪流及高岡村ニ發シ中郷村ヲ通シテ牟禮附近ニ於テ本流ニ合流セル溪流ヲ主タルモノトス。

灌漑期間ニ於ケル流量ニ付テハ從來測定シタル記録ナク、從ヒテ全川ニ亘リテ其ノ流量ヲ知ル材料ナキモ、最近五ケ年間ニ於ケル鳥居川上流信電第一發電所取入口實測ニ依レバ別表ノ如シ。

測 水 所 上水内郡柏原村字黒姫山信電第一發電所取入口

流 域 面 積 三・二方里